秦野の教育

令和７年度

（2025 年度）

秦野市教育委員会

【表紙の写真】

はだのっ子未来づくりフォーラム（令和６年１２月１日）

目　　次

第１編　教育行財政
第１章　教育委員会 …… 1
１　教育委員会教育長及び委員 …… 1
２　教育委員会の活動状況 …… 2
（1）　教育委員会会議の開催状況 …… 2
（2）　教育委員会会議の審議等の状況 …… 3
（3）　教育委員会会議以外の活動状況 …… 9
３　教育委員会表彰 …… 14
（1）　教育功労者等表彰 …… 14
（2）　教育長表彰 …… 15
第２章　令和７年度主要施策 …… 16
第３章　教育委員会組織 …… 22
１　教育委員会事務局組織 …… 22
２　事務分掌 …… 23
３　事務局の職員数 …… 24
第４章　令和７年度教育予算 …… 25
１　予算額 …… 25
２　教育費の内訳 …… 25
３　教育費予算額 …… 26
４　教育関係施設工事一覧 …… 27
５　令和７年度予算における園児、児童及び生徒１人当たりの教育費 …… 28

第２編　学校教育
１　教育指導課事業 …… 31
（1）　学力向上推進事業 …… 31
（2）　いじめ・不登校対策事業 …… 33
（3）　地域とともにある学校づくり推進事業 …… 34
（4）　支援教育推進事業 …… 35
（5）　国際理解教育推進事業 …… 37
（6）　その他教育指導関係事業 …… 38
２　教育研究所事業 …… 39
（1）　園小中一貫教育研究事業 …… 39
（2）　調査研究事業 …… 39
（3）　教育研修事業 …… 39
（4）　はだのっ子アワード事業 …… 40
（5）　環境教育推進事業 …… 40
（6）　学校ＩＣＴ推進事業 …… 41
（7）　教育支援教室事業（いずみ） …… 41
（8）　訪問型個別支援事業（つばさ） …… 41
（9）　デジタルフリースクール事業 …… 42
（10）乳幼児教育センター事業 …… 42
３　保健 …… 44
４　給食 …… 45
５　就学援助・就学奨励 …… 47

第３編　生涯学習
第１章　生涯学習・社会教育 …… 51
１　生涯学習に関連する審議会・協議会等 …… 51
２　生涯学習事業 …… 52
３　公民館 …… 54
第２章　文化財 …… 56
１　文化財保護 …… 56
（1）　文化財普及啓発 …… 56
（2）　文化財保存管理 …… 57
（3）　文化財調査研究 …… 57
（4）　指定文化財等一覧 …… 57
（5）　はだの歴史博物館の管理 …… 60
（6）　市史資料整理・保存 …… 60
第３章　図書館 …… 61
１　図書館事業の概要 …… 61
２　貸出点数の推移 …… 63

第４編　関係資料
Ⅰ　学校教育関係 …… 67
１　令和７年度学校教育目標、経営の重点及び具体的な取組 …… 67
（1）　市立幼稚園・こども園（１１園） …… 67
（2）　市立小学校（１３校） …… 71
（3）　市立中学校（９校） …… 78
２　市立幼稚園・学校関係統計一覧 …… 83
（1）　幼稚園年度別園児数一覧 …… 83
（2）　小学校年度別児童数一覧 …… 84
（3）　中学校年度別生徒数一覧 …… 85
（4）　小学校・中学校別児童・生徒数及び学級数一覧 …… 86
（5）　幼稚園教職員等一覧 …… 87
（6）　小学校及び中学校教職員等一覧 …… 87
（7）　教職員数の推移 …… 88
（8）　正規教員の年齢別・男女別一覧 …… 89
（9）　学校施設一覧 …… 90
（10）年度別身体計測結果（小学６年生・中学３年生） …… 91
（11）中学校卒業者の進路状況 …… 92
Ⅱ　社会教育関係 …… 93
１　公民館 …… 93
２　はだの歴史博物館 …… 93
３　令和６年度図書館資料等の保有及び利用状況 …… 94

Ⅲ　教育委員会刊行物一覧 …… 95
　１　教育関係 …… 95
　２　文化財関係 …… 102
　３　図書館関係 …… 111
Ⅳ　教育委員会事務局組織の変遷 …… 112
Ⅴ　教育のあゆみ …… 116
Ⅵ　歴代教育長 …… 124
　秦野市民憲章 …… 125
　秦野市平和都市宣言 …… 126
　子ども平和宣言 …… 127
　鳥もすめる環境都市宣言 …… 127
　はだの子ども人権宣言 …… 128

秦野市教育委員会教育目標

秦野市教育委員会は、教育基本法に定める教育の目的及び理念を踏まえ、秦野市市民憲章の精神に基づき、平和で民主的な国家及び地域社会の形成者として必要な資質を備えた以下に掲げる人の育成、支援に努めます。

◎　生命や人権を尊重し、平和を愛する豊かな心を持つ人
◎　人や自然との共生・共存を大切にする人
◎　心身ともに健康で希望を持ち、夢の実現に向けてたくましく生きる人
◎　郷土の歴史や文化を尊重し、新しい文化を創造する人
◎　公共の精神を尊ぶとともに、自ら学び、考え、行動する人

（平成２１年３月２７日制定）

秦野市教育大綱

１　教育目標

（1）　生命や人権を尊重し、平和を愛する豊かな心を持つ人
（2）　人や自然との共生・共存を大切にする人
（3）　心身ともに健康で希望を持ち、夢の実現に向けてたくましく生きる人
（4）　郷土の歴史や文化を尊重し、新しい文化を創造する人
（5）　公共の精神を尊ぶとともに、自ら学び、考え、行動する人

２　目指す教育の姿

（1）　園小中一貫教育を通した子どもの育成
（2）　「知の循環型社会」の構築の推進

３　基本方針

（1）　全ての子どもたちの可能性を引き出す新たな学びのスタイルにより、持続可能な社会を創り出す力を育みます。
（2）　地域とともにある学校づくりを推進します。
（3）　子どもたちが安心して学ぶことができる学習環境と質の高い教育を支える教育環境を整備します。
（4）　市民の誰もが豊かな人生を送ることができるよう、生涯にわたり学び続けることができる環境づくりを推進します。
（5）　地域の歴史資源の保存・活用を通じ後世への継承に努めます。

４　対象とする期間

令和３年度から令和７年度までの５年間

（令和３年３月策定）

第Ⅰ編　教育行財政

第１章　教育委員会

１　教育委員会教育長及び委員

教育長
佐 藤 直 樹

教育長職務代理者
内 田 晴 久

委 員
牛 田 洋 史

委 員
小 泉 裕 子

委 員
大 屋　崇

（令和７年４月１日現在）

役　職	氏　　名	委員就任年月日	任　　期
教育長	佐 藤 直 樹	令和２年　９月１日	令和５　年９　月１　日 令和８　年８　月31　日
教育長 職務代理者	内 田 晴 久	令和５年10月８日	令和５　年10　月８　日 令和９　年10　月７　日
委　員	牛 田 洋 史	平成30年10月１日	令和４　年４　月１　日 令和８　年３　月31　日
委　員	小 泉 裕 子	令和３年10月１日	令和３　年10　月１　日 令和７　年９　月30　日
委　員	大 屋　崇	令和６年10月１日	令和６　年10　月１　日 令和10年９　月30　日

２　教育委員会の活動状況

（1）　教育委員会会議の開催状況

教育委員会では、原則として、毎月第３金曜日の午後１時３０分から定例教育委員会会議、必要に応じて臨時教育委員会会議を開催しました。

【令和６年度定例会及び臨時会】

開　催　日	会　　議	付議事件数
令和6年 ４月１９日（金）	４月定例教育委員会 欠席委員　なし 傍 聴 者　１名	○教育長報告　１５件 ○協 議 事 項　２件
５月１７日（金）	５月定例教育委員会 欠席委員　なし 傍 聴 者　なし	○教育長報告　９件 ○議　　案　３件 ○協 議 事 項　２件
６月２１日（金）	６月定例教育委員会 欠席委員　なし 傍 聴 者　３名	○教育長報告　１２件 ○議　　案　２件 ○そ　の　他　１件
７月１９日（金）	７月定例教育委員会 欠席委員　なし 傍 聴 者　１名	○教育長報告　１０件 ○協 議 事 項　１件 ○そ　の　他　１件
７月３０日（火）	７月臨時教育委員会 欠席委員　なし 傍 聴 者１８名	○議　　案　３件
８月１６日（金）	８月定例教育委員会 欠席委員　なし 傍 聴 者　なし	○教育長報告　８件 ○議　　案　３件 ○協 議 事 項　１件
９月２０日（金）	９月定例教育委員会 欠席委員　なし 傍 聴 者　４名	○教育長報告　１２件 ○協 議 事 項　４件
１０月１６日（水）	１０月定例教育委員会 欠席委員　なし 傍 聴 者　２名	○教育長報告　１５件 ○議　　案　３件 ○協 議 事 項　２件 ○そ　の　他　１件
１１月　８日（金）	１１月定例教育委員会 欠席委員　なし 傍 聴 者　なし	○教育長報告　９件 ○議　　案　１件 ○協 議 事 項　１件
１２月２０日（金）	１２月定例教育委員会 欠席委員　１名 傍 聴 者　２名	○教育長報告　９件 ○協 議 事 項　２件 ○そ　の　他　１件
令和7年 １月１７日（金）	１月定例教育委員会 欠席委員　なし 傍 聴 者　１名	○教育長報告　１４件 ○議　　案　２件 ○協 議 事 項　２件 ○そ　の　他　２件
２月１２日（水）	２月定例教育委員会 欠席委員　なし 傍 聴 者　なし	○教育長報告　６件 ○議　　案　１件 ○協 議 事 項　１件 ○そ　の　他　１件

開　催　日	会　　議	付議事件数
3月17日（月）	３月定例教育委員会 欠席委員　なし 傍 聴 者　なし	○教育長報告　　１６件 ○議　　案　　２件 ○そ　の　他　　１件
定例教育委員会　　１２回 臨時教育委員会　　１回		○教育長報告　　１３５件 ○議　　案　　２０件 ○協 議 事 項　　１８件 ○そ　の　他　　８件

（2）教育委員会会議の審議等の状況

令和６年度の教育委員会会議においては、議案２０件の審議、協議事項１８件の協議を行うとともに、教育長の臨時代理１６件を含む１３５の案件、その他８件について報告を受けて質疑を行いました。

ア　教育長報告【１３５件】

番号	案件名	報告日
1	令和６年５月の開催行事等について	令和6年 4月19日
2	秦野市議会第１回定例月会議報告について	
3	園児、児童、生徒及び学級数について	
4	支援教育の現状と課題について	
5	令和６年度秦野こども未来づくり会議について	
6	コミュニティ・スクールについて	
7	令和５年度卒業（園）式、令和６年度入学（園）式の実施状況について	
8	教科学習支援員派遣事業の結果について	
9	第15回秦野市親子川柳大会の作品募集について	
10	企画展「幡多(はた)から波多野(はたの)へ-古代の秦野-」について	
11	図書館こどもの読書フェアについて	
1	令和６年６月の開催行事等について	5月17日
2	令和５年度幼稚園型一時預かり事業について	
3	園児、児童、生徒及び学級数について	
4	小中学校教職員の時間外在校等時間集計結果（令和５年度）について	
5	令和６年度教科書展示会について	
6	コミュニティ・スクールについて	
7	今後の園・学校訪問等の対応について	
8	スマートスクール構想が目指すものについて	
9	桜土手古墳公園活性化事業「桜土手古墳公園お花見フェア2024」の開催結果について	
1	令和６年７月の開催行事等について	6月21日
2	令和５年度　中学校給食「Ｇｏ　Ｆｕｎ（ご飯）　Ｗｅｅｋ！」の取組結果について	
3	第１回秦野こども未来づくり会議について	
4	令和６年度新たな学びプロジェクトについて	

番号	案件名	報告日
5	学びの基盤プロジェクトの今年度の流れについて	6月21日
6	令和５年度英語教育実施状況調査の結果について	
7	子ども等に関する事案について	
8	令和６年度はだの生涯学習講座について	
9	広域連携中学生交流洋上体験研修事業について	
10	企画展「怪異と妖怪の世界」について	
11	ミュージアムさくら塾「古代相模国をめぐる人々の移動」について	
1	令和６年８月の開催行事等について	7月19日
2	秦野市議会第２回定例月会議報告について	
3	読解力向上に係る新たな学びプロジェクトの展開について	
4	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について（改訂版）	
5	子ども等に関する事案について	
6	第42回教育研究発表会について	
7	公民館における夏休み期間の学習室等開放について	
8	市指定無形民俗文化財「鶴巻下部大山灯籠行事」及び「瓜生野百八松明・盆踊り」について	
9	第37回夕暮祭短歌大会表彰式について	
10	第38回夕暮記念こども短歌大会の作品募集について	
1	令和６年９月の開催行事等について	8月16日
2	令和６年度公民館運営点検・評価について	
3	企画展「丹沢・大山と秦野の修験―その歴史と伝説」について	
4	楽しい絵本とおはなしの講座について	
5	花音朗読コンサート2024について	
6	令和６年度市民大学について	
1	令和６年10月の開催行事等について	9月20日
2	みんなで考えるみらいの学校整備指針（案）のパブリック・コメントの実施結果について	
3	第２回秦野こども未来づくり会議の実施結果について	
4	子ども等に関する事案について	
5	第42回教育研究発表会の実施結果について	
6	第３回新規採用教職員研修会の実施結果について	
7	第１回「はだのっ子育ちと学びの架け橋会議」の実施結果について	
8	広域連携中学生交流洋上体験研修について	
9	令和６年度桜土手古墳公園活性化事業「古墳 de YOGA」について	
10	蔵書点検、エレベーター改修工事等に伴う図書館の特別休館について	
1	令和６年11月の開催行事等について	10月16日
2	秦野市議会第３回定例月会議報告について	
3	はだのっ子キッチン（学校給食センター）のフードロス削減の取組について	
4	数学科フォーラム2024の開催について	
5	読書活動の推進について	

番号	案件名	報告日
6	「考え、議論する道徳」への転換に向けて	10月16日
7	「秦野スマートスクール2030プロジェクト」の実施について	
8	「秦野ふるさと科」における愛鳥活動の新たな展開に向けて	
9	公民館における夏休み期間の学習室等開放の結果について	
10	企画展「食と農」について	
11	企画展「秦野にいきた女性たち～それぞれの物語～」について	
12	令和６年度指定文化財特別公開について	
13	令和６年度桜土手古墳公園活性化事業「古墳 de ZUMBA」について	
14	古典の日・文学講演会について	
15	秋の読書週間について	
1	令和６年12月の開催行事等について	11月8日
2	令和５年度児童・生徒の問題行動・不登校等調査結果について	
3	通級指導教室の運営について	
4	子ども等に関する事案について	
5	教育水準の改善・向上に係る先進事例視察の結果について	
6	ミュージアム青空レクチャー「本町地区の有形文化財」について	
7	秦野市立図書館窓口業務等委託に係る受託事業者の選定について	
8	第38回夕暮記念こども短歌大会の入賞作品について	
1	令和７年１月の開催行事等について	12月20日
2	はだのっ子未来づくりフォーラムの結果について	
3	新たな学びプロジェクトの結果について	
4	秦野市学びの基盤プロジェクトが目指すものについて	
5	読解力向上に係る重点的な取組について	
6	新たな学びサポート相談会の開催結果について	
7	第15回秦野市親子川柳大会の入賞作品について	
8	令和６年度子ども読書活動推進事業講演会「秦野在住、舘野鴻。～足元にあるものがたり～」について	
1	令和７年２月の開催行事等について	令和7年1月17日
2	秦野市議会第４回定例月会議報告について	
3	大根中学校区学校整備懇話会における検討状況について	
4	市制施行70周年記念給食のネーミング募集について	
5	令和６年度中学校給食「Ｇｏ Ｆｕｎ（ご飯）Ｗｅｅｋ！」の取組結果について	
6	令和６年度「学校生活全般における体罰等の実態把握に関する調査」の実施について	
7	子どもと向き合う時間の確保に向けて	
8	子ども等に関する事案について	
9	かながわの遺跡展「縄文ムラの繁栄-かながわ縄文中期の輝き-」について	
10	令和６年度「中学校短歌出前授業」の実施について	
11	大人のためのおはなし会について	

番号	案件名	報告日
1	令和７年３月の開催行事等について	2月12日
2	教育データの利活用が目指すものについて	
3	非認知能力に着目した学びと育ちの連続性確保に向けて	
4	インクルーシブ教育の推進について	
5	放課後学習支援の実施状況について	
6	市制施行70周年記念企画展「カメラレンズがとらえた70年」について	
1	令和７年４月の開催行事等について	3月17日
2	学校体育館空調設備の実証事業について	
3	市制施行70周年記念給食のネーミング選考結果について	
4	令和６年度「学校生活全般における体罰等の実態把握に関する調査」の結果について	
5	子ども等に関する事案について	
6	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について	
7	令和７年度学校教育関係事業について	
8	令和６年度はだのっ子アワード事業の実績報告について	
9	新たな学びプロジェクトの手法による「秦野ふるさと科」の充実について	
10	令和６年度乳幼児教育センターの取組について	
11	新たな学びプロジェクトが目指すもの～第一生命と連携した「消費者・金融教育」～	
12	市制施行 70 周年記念企画展「大津雲山展－秦野に生まれた南画家－」について	
13	桜土手古墳公園活性化事業「古墳 de YOGA」及び「桜土手古墳公園お花見フェア2025」について	
14	令和６年度児童文学講座について	

報告番号	臨時代理の報告について	報告日
R6－5	秦野市教育委員会事務局職員の任免について	令和6年4月19日
6	秦野市教育委員会職員の任免について	
7	秦野市立学校教育施設の開放に関する規則の一部を改正することについて	
8	秦野市立小学校教頭に対する人事上の措置について	
9	秦野市社会教育委員の委嘱について	6月21日
10	秦野市学校給食運営審議会委員の委嘱について	8月16日
11	秦野市立公民館条例施行規則及び秦野市立図書館条例施行規則の一部を改正することについて	
12	動産の取得の追認について	9月20日
13	動産の取得の追認について	
14	令和６年度教育功労者等表彰・教育長表彰の被表彰者の追加について	11月8日

報告番号	臨時代理の報告について	報告日
15	令和６年度教育功労者等表彰・教育長表彰の被表彰者の追加について	12月20日
R7-1	令和６年度教育功労者等表彰・教育長表彰の被表彰者の追加について	令和7年1月17日
2	令和７年度管理職候補者の推薦について	
3	秦野市公立学校教員に対する人事上の措置について	
4	秦野市小中学校管理職の退職の内申について	3月17日
5	秦野市小中学校管理職の任免の内申について	

イ　議　案【２０件】

議案番号	案件名	審議日
R6-6	令和６年度秦野市一般会計（教育費）予算の補正について	5月17日
7	令和７年度に秦野市立小学校及び中学校で使用する教科用図書の採択方針について	
8	秦野市立図書館窓口業務等委託に係る企画提案型事業審査会規則を制定することについて	
9	秦野市図書館協議会委員の任命について	6月21日
10	秦野市立図書館窓口業務等委託に係る企画提案型事業審査会委員の委嘱又は任命について	
11	令和７年度に使用する中学校の教科用図書の採択について	7月30日
12	令和７年度に使用する小学校の教科用図書の採択について	
13	令和７年度に使用する学校教育法附則第９条による教科用図書の採択について	
14	令和６年度教育委員会教育行政点検・評価について	8月16日
15	令和５年度秦野市一般会計（教育費）決算について	
16	秦野市立図書館窓口業務等委託の受託候補者選定に係る諮問について	
17	令和７年度秦野市立小中学校県費負担教職員人事異動方針について	10月16日
18	令和７年度秦野市立幼稚園教諭人事異動方針について	
19	令和６年度秦野市教育委員会教育功労者等表彰・教育長表彰について	
20	令和６年度秦野市一般会計（教育費）予算の補正について	11月8日
R7-1	秦野市立学校の設置に関する条例の一部を改正することについて	令和7年1月17日
2	秦野市文化財保護委員会委員の委嘱について	
3	令和７年度秦野市一般会計（教育費）予算について	2月12日
4	令和７年度秦野市教育委員会基本方針及び主要施策について	3月17日
5	秦野市教育委員会事務局組織規則の一部を改正することについて	

ウ　協議事項【１８件】

番号	案件名	協議日
1	令和６年度教育委員会教育行政点検・評価について	令和6年 4月19日
2	教科用図書採択に関わる日程等について	
3	令和６年度教育委員会教育行政点検・評価について	5月17日
4	学校情報セキュリティポリシーの策定について	
5	令和６年度教育委員会教育行政点検・評価について	7月19日
6	小規模特認校（上小学校）の令和７年度就学生の募集について	8月16日
7	令和７年度秦野市立小中学校県費負担教職員人事異動方針（案）について	9月20日
8	令和７年度秦野市立幼稚園教諭人事異動方針（案）について	
9	令和７年度一人１台学習用端末更新方針（案）について	
10	令和６年度全国学力・学習状況調査結果の分析について	
11	就学援助制度の見直しについて	10月16日
12	令和６年度全国学力・学習状況調査結果の分析について（その２）	
13	上小学校長による上幼稚園長の兼職について	11月8日
14	令和７年度秦野市一般会計（教育費）予算編成について	12月20日
15	次期秦野市教育振興基本計画の策定について	
16	令和７年度秦野市一般会計（教育費）予算（案）について	令和7年 1月17日
17	学習用端末の更新に係る各種計画の策定について	
18	秦野市立学校における医療的ケアに関するガイドラインについて	2月12日

エ　その他【８件】

番号	案件名	協議・報告日
1	令和６年度園・校における防災訓練の結果について	令和6年 6月21日
2	要望書等について	7月19日
3	令和７年度予算編成について	10月16日
4	要望書について	12月20日
5	令和７年度教育委員会会議等日程（案）について	令和7年 1月17日
6	申入書について	
7	要望書等について	2月12日
8	要望書等について	3月17日

(3)　教育委員会会議以外の活動状況

令和６年度においては、定例会のほか、総合教育会議、学校等訪問、学習会、研修会、各種事業等の活動に５７回（延べ９２人）参加及び出席しました。

No.	月　　日	活動等の名称	活　動　内　容	区分
1	令和６年 ４月　４日（木）	教育支援助手・特別支援学級介助員研修会 【教育指導課】	挨拶	式　典
2	４月　９日（火）	園・学校訪問（西・大根・広畑小学校・大根中学校） 【教育総務課】	園長・学校長との意見交換等	学校等訪　問
3	４月１０日（水）	学びのステップアップ講座委嘱式 【教育指導課】	挨拶及び委嘱状の交付	式　典
4	４月１２日（金）	広域連携中学生交流洋上体験研修事業第１回実行委員会 【生涯学習課】	１市４町１村の広域連携事業として、中学生が船上での生活を通じて交流と連帯を深め、自主性や協調性、他人を思いやる心を養い、また海洋観測や島での歴史や海などの自然に触れ合うことで自然の素晴らしさ、厳しさを体験することを目的として実施 ※会議時、冒頭挨拶	会　議
5		神奈川県市町村教育委員会連合会中学校 【教育総務課】	総会	会　議
6	４月１３日（土）	秦野市 PTA 連絡協議会総会 【生涯学習課】	令和５年度決算及び令和６年度予算の承認 ※会議時、冒頭挨拶	会　議
7	４月１５日（月）	園・学校訪問 （本町・北小学校） 【教育総務課】	園長・学校長との意見交換等	学校等訪　問
8	４月１６日（火）	園・学校訪問 （南小学校・鶴巻中学校） 【教育総務課】	園長・学校長との意見交換等	学校等訪　問
9	４月１７日（水）	園・学校訪問 （堀川・渋沢・南が丘小学校・本町・南・西中学校） 【教育総務課】	園長・学校長との意見交換等	学校等訪　問

No.	月　　日	活動等の名称	活　動　内　容	区分
10	４月１８日（木）	園・学校訪問 （東小学校・東中学校） 【教育総務課】	園長・学校長との意見交換等	学校等訪　問
11	４月２６日（金）	学びのステップアップ講座授業づくり研修会 【教育指導課】	挨拶	会　議
12		教育研究所研究員委嘱式 【教育研究所】	教育研究所調査研究事業を推進するに当たり、公募により募集した職員をグローカルリーダーとして委嘱・任命する	式　典
13	５月　８日（水）	先進地視察（多久市立東原庠舎中央校） 【教育指導課】	本市教育行政の発展のため先進地の視察を行う	視　察
14	５月１４日（火）	新規採用及び転任採用教職員研修会 【教育研究所】	教師としてのやりがいや達成感、職場への帰属意識が高まるよう互いの価値提案の場とし、中学校区ごとに顔の見える関係を構築する	会　議
15	５月１５日（水）	令和６年度第１回教科用図書採択検討委員会 【教育指導課】	令和６年度使用教科用図書の採択について	会　議
16	５月２４日（金）	オンライン会議 （総務省） 【教育指導課】	意見交換（教育データの利活用に係る実証的共同研究）	会　議
17	５月３０日（木）	オンライン会議 （文部科学省） 【教育指導課】	意見交換	会　議
18	５月３１日（金）	関東甲信越静市町村教育委員会連合会 【教育総務課】	総会及び研修会	会　議
19	６月　２日（日）	第１回秦野こども未来づくり会議 【教育指導課】	市内小・中学校代表児童・生徒、教員が集い、明るい未来を目指して意見交換を行う	会　議
20	６月　３日（月）	園・学校訪問 （北幼稚園・北小学校） 【教育研究所】	園長・学校長との意見交換等	学校等訪　問
21	６月２４日（月）	新規採用教職員研修会 【教育研究所】	リフレーミング研修に取り組む	会　議
22	７月　１日（月）	令和６年度第２回教科用図書採択検討委員会 【教育指導課】	令和６年度使用教科用図書の採択について（調査員報告）	会　議

No.	月　　日	活動等の名称	活　動　内　容	区分
23	７月　２日（火）	第１回社会教育委員会議 【生涯学習課】	秦野市社会教育委員会議は、社会教育法第１５条の規定及び秦野市社会教育委員条例により設置され、本市社会教育及び学校教育について、報告及び協議を行う※会議時、冒頭挨拶	会　議
24	７月１０日（水）	秦野市いじめ対策調査員会　【教育指導課】	挨拶	会　議
25	７月１９日（金）	令和６年度使用教科用図書学習会① 【教育指導課】	令和７年度の教科用図書採択替えに関する学習会	学習会
26	７月２４日（水）	令和６年度使用教科用図書学習会② 【教育指導課】	令和７年度の教科用図書採択替えに関する学習会	学習会
27	７月２５日（木）	令和６年度第１回図書館協議会 【図書館】	挨拶	会　議
28	７月２７日（土）	第３７回夕暮祭短歌大会表彰式 【図書館】	全国から応募された短歌作品の中から優秀な作品を表彰する	式　典
29	８月　３日（土）	広域連携中学生交流洋上体験研修事業出発式 【生涯学習課】	１市４町１村の広域連携事業として、中学生が船上での生活を通じて交流と連帯を深め、自主性や協調性、他人を思いやる心を養い、また海洋観測や島での歴史や海などの自然に触れ合うことで自然の素晴らしさ、厳しさを体験することを目的として実施 ※出発式及び記念撮影に参加	式　典
30	８月１９日（月）	第２回秦野こども未来づくり会議 【教育指導課】	市内小・中学校代表児童・生徒、教員が集い、明るい未来を目指して意見交換を行う	会　議
31	８月２１日（水）	第４２回教育研究発表会 【教育研究所】	グローカルリーダーの作問から授業改善への道筋について熟議を行う。小中一貫マネジメント部会及び秦野ふるさと科の発表	事　業 参　加
32	９月　５日（木）	文部科学省地方教育アドバイザー訪問（文部科学省） 【教育指導課】	今年度事業の中間報告及び１１月学習会への参加のお願い	会　議
33	９月３０日（月）	数学科フォーラム 2024 【教育指導課】	挨拶	会　議

No.	月　　日	活動等の名称	活　動　内　容	区分
34	１０月１７日（木）	教育水準の改善・向上に係る先進事例視察 【教育研究所】	増加する不登校への対策として、大阪府大東市教育支援センター、京都府八幡市教育委員会、大阪府大阪市立義務教育学校「生野未来学園」を視察	視　察
35	１０月１８日（金）	教育水準の改善・向上に係る先進事例視察 【教育研究所】		視　察
36	１０月２３日（水）	第３０回全国報徳サミット秦野市大会第１回実行委員会 【生涯学習課】	第３０回全国報徳サミット秦野市大会を開催するに当たり、大会概要、サミット会則、実行委員会会則等の承認、スケジュールの提案を行う	会　議
37	１０月２５日（金）	第２回社会教育委員会議 【生涯学習課】	秦野市社会教育委員会議は、社会教育法第１５条の規定及び秦野市社会教育委員条例により設置され、本市社会教育及び学校教育について、報告及び協議を行う ※会議時、冒頭挨拶	会　議
38	１１月　７日（木）	文部科学省地方教育アドバイザー視察 【教育指導課】	学びの基盤プロジェクト学習会挨拶及び参加	事　業 参　加
39	１１月１５日（金）	第２９回全国報徳サミット桜川市大会総会、視察及び交歓会 【生涯学習課】	報徳仕法の検証を通して、これからのまちづくりに必要な取り組みを学ぶため、加盟市町村の長が一堂に会し、開催される「全国報徳サミット」の総会及び交歓会に出席、翌日に社会教育委員と合同で視察	事　業 参　加
40	１１月１６日（土）	第２９回全国報徳サミット桜川市大会 【生涯学習課】		事　業 参　加
41	１１月２７日（水）	出前授業「丹沢讃歌を歌おう」 【教育指導課】	挨拶及び参加	学校等 訪　問
42	１１月２８日（木）	オンライン会議 （文部科学省） 【教育指導課】	意見交換（地方教育行政における連携促進事業）	会　議
43	１２月　１日（日）	第３８回夕暮記念こども短歌大会表彰式 【図書館】	市内在住または在学の小学４年生から中学生までを対象として、短歌作品を募集し、優秀作品を表彰する	式　典
44		はだのっ子未来づくりフォーラム 【教育指導課】	市内小・中学校代表児童・生徒、教員が集い、明るい未来を目指して意見交換を行う	会　議
45	１２月　６日（金）	園・学校訪問 （北小学校） 【教育総務課】	園長・学校長との意見交換等	学校等 訪　問

No.	月　　日	活動等の名称	活　動　内　容	区分
46	１２月１４日（土）	第１３回秦野市 PTA 大会 【生涯学習課】	合同開催により、PTA による実践発表、家庭教育支援講演会、親子川柳入賞者の表彰を行う ※市Ｐ大会及び親子川柳表彰式において挨拶	式　典
47		令和６年度家庭教育支援講演会　【生涯学習課】		式　典
48		第１５回秦野市親子川柳大会表彰式 【生涯学習課】		式　典
49	令和７年 １月　８日（水）	令和７年　新年賀詞交歓会 【秘書課】	式典	式　典
50	１月１８日（土）	秦野市教育功労者等表彰式 【教育総務課】	本市の教育や学術等の振興に貢献した個人・団体を表彰する	式　典
51		はだのっ子アワード表彰式 【教育研究所】	「はだのっ子アワード事業」において優秀な成績を修めた児童・生徒を表彰する	式　典
52	１月２２日（水）	令和６年度第２回図書館協議会 【図書館】	挨拶	会　議
53	１月２９日（水）	大日本報徳社及び掛川市役所訪問 【教育研究所】	掛川市における報徳仕法に基づく教育活動等の取組について伺う	視　察
54	２月　５日（水）	第３０回全国報徳サミット秦野市大会第２回実行委員会 【生涯学習課】	第２９回全国報徳サミット桜川市大会の視察報告 第３０回全国報徳サミット秦野市大会を開催するに当たり、第２回実行委員会までの普及啓発内容の報告及び第２回実行委員会以降のスケジュールの確認	会　議
55	２月２７日（木）	オンライン会議 （文部科学省） 【教育指導課】	意見交換（地方教育行政における連携促進事業）	会　議
56	３月　７日（金）	学びのステップアップ講座修了式 【教育指導課】	合同開催、挨拶及び修了証の交付（講座修了式のみ交付）	式　典
57		令和６年度秦野市コミュニティ・スクール連絡協議会」 【教育指導課】		式　典

3　教育委員会表彰

(1)　教育功労者等表彰

教育功労者等表彰とは、本市の教育、学術及びスポーツ等の振興に貢献及び尽力し、その功労又は功績が顕著である個人又は団体に対して、秦野市教育委員会が感謝の意を表するものです。

ア　表彰状受賞者数　（人）

年度	退職校長	スポーツ（全国大会等）	スポーツ（県大会）	学術（全国大会等）	学術（県大会）	寄附寄贈	非常勤	奉仕
6		25	19	1			1	
5	2	29	6	2	1		1	1
4	7	15	7	1			9	1

イ　表彰状受賞団体数　（団体）

年度	スポーツ（全国大会等）	スポーツ（県大会）	学術（全国大会等）	学術（県大会）	奉仕
6	14	5	1		
5	5		2		
4	5	1	1		

ウ　感謝状受賞者数　（人）

年度	奉仕（無償）	奉仕（有償）	非常勤	寄付・寄贈
6	1	1	12	
5	4	4		1
4	3		11	1

エ　感謝状受賞団体数　（団体）

年度	奉仕（無償）	奉仕（有償）	寄付・寄贈
6			
5	1		1
4			4

(2)　教育長表彰

教育長表彰とは、秦野市内に在住する園児、児童及び生徒並びに園児、児童及び生徒が所属し秦野市に活動拠点がある団体が、学術やスポーツ等の分野において優秀な成績を収め、多くの子どもたちに可能性と希望を与えたことに対し、教育長が賞賛の意を表するものです。

ア　表彰状受賞者数　（人）

年度	学術（全国大会等）	学術（県大会）	スポーツ（全国大会等）	スポーツ（県大会）
6	3	6	１３	１１
5	2	6	２４	6
4	5	2	１９	１０

イ　表彰状受賞団体数　（団体）

年度	学術（全国大会等）	学術（県大会）	スポーツ（全国大会等）	スポーツ（県大会）
6			3	4
5			3	4
4			3	3

第２章　令和７年度主要施策

(1)　全ての子どもたちの可能性を引き出す新たな学びのスタイルにより、持続可能な社会を創り出す力を育みます。

施策内容・取組内容	７年度 予算額(千円)	前年度 予算額(千円)	増減額 (千円)	教育振興 基本計画 の位置付け
① 新たな学びプロジェクトの展開	50,546	57,019	△6,473	
・読解力向上プロジェクトの推進	150	－	皆増	1-1-(1)-①
・学びの基盤プロジェクトの推進	6,070	6,724	△654	1-1-(1)-②
・教育ＤＸ（教育分野におけるデジタル・トランスフォーメーション）の推進	29,706	36,036	△6,330	1-1-(1)-④
・はだのっ子寺子屋事業の推進	14,620	14,259	361	1-1-(1)-⑦
② インクルーシブ教育の推進	243,573	193,548	50,025	
・特別支援学級介助員の派遣	102,851	85,954	16,897	1-3-(1)-①
・教育支援助手の派遣	125,733	105,277	20,456	1-3-(1)-②
・インクルーシブな学校運営モデル構築事業の推進	4,128	－	皆増	1-3-(1)
・医療的ケア看護師事業の拡充	9,571	1,600	7,971	1-3-(1)
・特別支援教育コーディネーター事業の拡充	1,290	717	573	1-3-(1)
③ いじめ・不登校等の対策の推進	11,562	11,325	237	
・訪問型個別支援教室「つばさ」の充実	11,562	11,325	237	1-4-(2)-⑤
④ 一人ひとりを大切にした特色のある幼児教育の推進	1,435	3,233	△1,798	
・幼児教育の質の向上	1,375	3,233	△1,858	1-5-(1)-①
・未就園児交流の試行的拡充	60	－	皆増	1-5-(1)-①

(2)　地域とともにある学校づくりを推進します。

施策内容・取組内容	７年度 予算額(千円)	前年度 予算額(千円)	増減額 (千円)	教育振興 基本計画 の位置付け
① 学校マネジメントの強化	3,298	2,961	337	
・コミュニティ・スクールの推進	3,298	2,961	337	2-1-(1)-①
② 秦野の特色のある教育の推進	282	262	20	
・はだのっ子アワード事業の推進	282	262	20	2-2-(1)-②

(3)　子どもたちが安心して学ぶことができる学習環境と質の高い教育を支える教育環境を整備します。

施策内容・取組内容	7年度 予算額(千円)	前年度 予算額(千円)	増減額 (千円)	教育振興 基本計画 の位置付け
①　学校における働き方改革の推進	9,170	27	9,143	
・学校業務の改善	7,168	27	7,141	3-1-(1)-①
・学校水泳指導業務の民間事業者への委託実証事業	2,002	－	皆増	3-1-(1)-①
②　学校施設長寿命化の推進	47,260	41,377	5,883	
・学校施設の改修（小学校）	40,280	30,655	9,625	3-2-(1)-①
・学校施設の改修（中学校）	6,980	10,722	△3,742	3-2-(1)-①
③　学校における省エネ対策の推進	23,759	23,759	0	
・学校施設省エネ対策の推進	23,759	23,759	0	3-2-(2)-①
④　学校管理下の安全確保の推進	790,132	745,507	44,625	
・小学校給食室の環境の整備	790,132	745,507	44,625	3-3-(2)-①
⑤　学習機会の保障	162,842	142,394	20,448	
・就学援助制度の見直し	162,842	142,394	20,448	3-2-(4)-①
⑥　学校教育の情報化の推進	157,257	159,286	△2,029	
・学校のＩＣＴ環境の整備	157,257	159,286	△2,029	3-3-(2)-①
⑦　中学校給食の推進	649,130	616,115	33,015	
・学校給食の推進	554,981	554,564	417	3-3-(3)-①
・物価高騰への支援	94,149	61,551	32,598	3-3-(3)-①
⑧　教育施設の一体的整備の推進	9,615	8,546	1,069	
・学校施設の一体的整備に係る整備手法等の検討 ・新たな学びを支える学校施設等のあり方に関する調査研究	9,615	8,546	1,069	3-3-(5)-① 3-3-(5)-②

(4)　市民の誰もが豊かな人生を送ることができるよう、生涯にわたり学び続けることができる環境づくりを推進します。

施策内容・取組内容	7年度 予算額(千円)	前年度 予算額(千円)	増減額 (千円)	教育振興 基本計画 の位置付け
①　地域コミュニティ活動拠点としての公民館事業の充実	2,390	2,410	△20	
・市民提案型事業の充実 ・公民館協働事業の充実 ・地域協働事業の充実	2,390	2,410	△20	4-1-(1)-① 4-1-(1)-② 4-1-(1)-③
②　魅力ある地域学習の推進	12,321	1,036	11,285	
・報徳仕法啓発事業の充実	11,667	－	皆増	4-2-(1)-④
・夕暮祭短歌大会及び夕暮記念こども短歌大会の開催	654	1,036	△382	4-2-(1)-⑥
③　市民の生涯学習を支える読書活動への支援	19,155	19,160	△5	
・図書館資料の充実	16,835	16,840	△5	4-4-(1)-①
・図書館資料(電子書籍)の充実	2,320	2,320	0	4-4-(1)-①
④　子ども読書活動の推進	8,187	8,215	△28	
・ブックスタート事業の推進	5,867	5,895	△28	4-5-(1)-②
・学校等への支援	2,320	2,320	0	4-5-(1)-③
⑤　施設長寿命化の推進	279,295	88,092	191,203	
・公民館の計画的改修	191,869	40,860	151,009	4-6-(1)-①
・図書館の計画的改修	87,426	47,232	40,194	4-6-(1)-③

(5)　地域の歴史資源の保存・活用を通じ後世への継承に努めます。

施策内容・取組内容	7年度 予算額(千円)	前年度 予算額(千円)	増減額 (千円)	教育振興 基本計画 の位置付け
①　歴史資源等の保存・管理の推進	23,165	18,693	4,472	
・歴史資源の収集・保存 ・収蔵資料の管理・活用	23,165	18,693	4,472	5-1-(1)-① 5-1-(1)-②
②　文化財・歴史資源等の活用の推進	34,962	16,224	18,738	
・指定文化財特別公開の充実 ・歴史民俗講座の充実 ・総合歴史博物館機能の充実	34,962	16,224	18,738	5-2-(1)-① 5-2-(1)-② 5-2-(1)-④

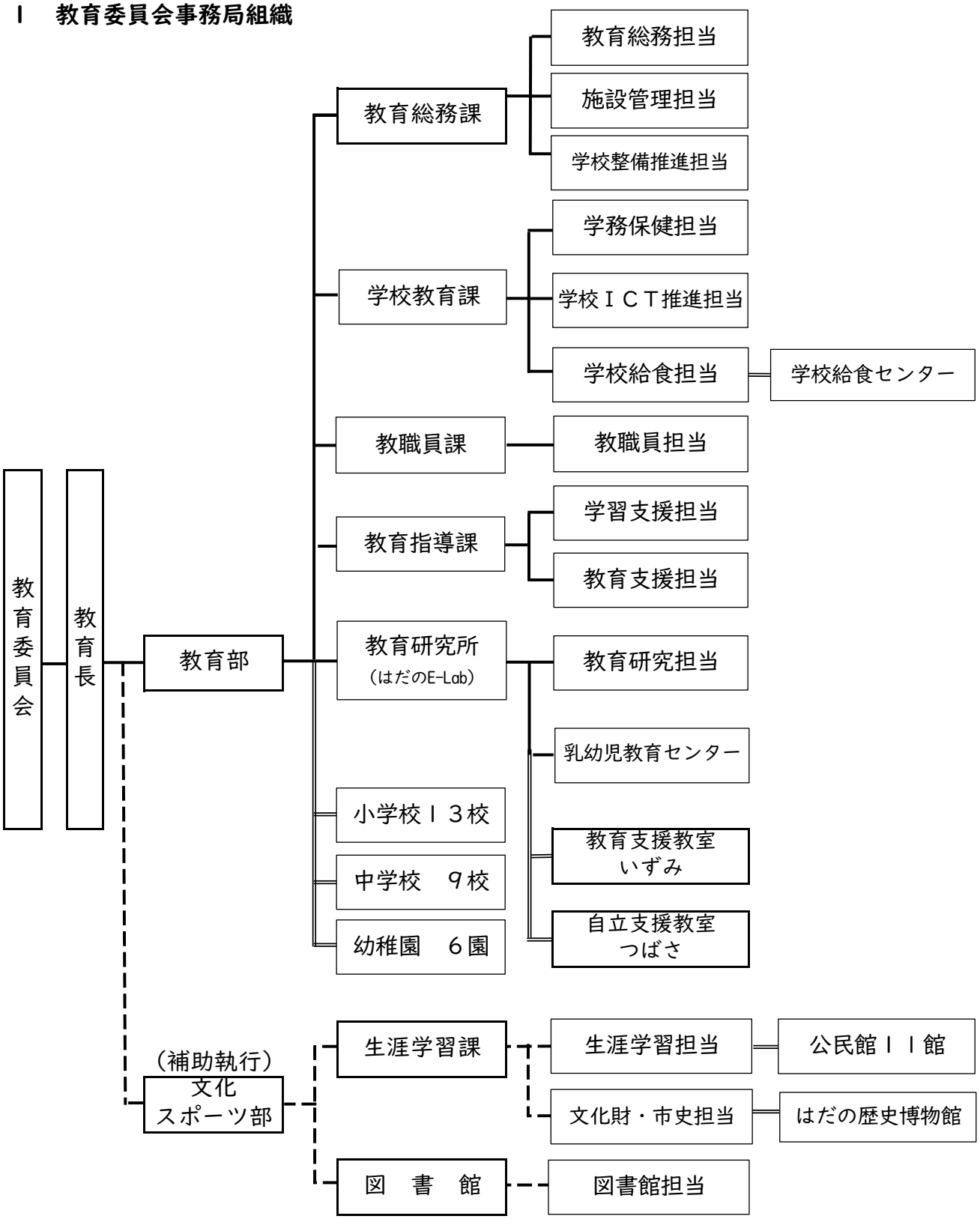
【教育振興基本計画　体系図】

基本方針	施策目標
≪基本方針１≫ 全ての子どもたちの可能性を引き出す新たな学びのスタイルにより、持続可能な社会を創り出す力を育みます	１　確かな学力の定着と向上
	２　健やかな体の育成
	３　個に応じたきめ細やかな支援
	４　豊かな情操や規範意識、公共の精神を育み、「自分の大切さとともに他の人の大切さを認める」教育の推進
	５　好奇心や探求心、豊かな感性を育む幼児教育の充実
≪基本方針２≫ 地域とともにある学校づくりを推進します	１　家庭・地域とともに学び、育ちあう学校づくり
	２　豊かな地域特性を生かし、郷土を愛する子どもの育成
≪基本方針３≫ 子どもたちが安心して学ぶことができる学習環境と質の高い教育を支える教育環境を整備します	１　持続的かつ効果的な学校運営、教育活動体制づくりの推進
	２　快適で安全・安心な学習環境の確保
	３　次世代を見据えた教育環境の整備・充実
≪基本方針４≫ 市民の誰もが豊かな人生を送ることができるよう、生涯にわたり学び続けることができる環境づくりを推進します	１　公民館事業の充実
	２　魅力ある地域学習の推進
	３　親子のふれあい及び家庭教育の支援
	４　図書館サービスの充実
	５　本に親しむ機会の提供と読書環境の整備
	６　公民館及び図書館の計画的な改修の推進
≪基本方針５≫ 地域の歴史資源の保存・活用を通じ後世への継承に努めます	１　歴史資源の収集・調査
	２　文化財等の活用

施策内容
（1）　【重点施策】新たな学びプロジェクトの展開
（2）　学び続ける教職員への支援
（1）　はだの元気っ子プランの推進
（2）　食育の推進
（1）　インクルーシブ教育の推進
（1）　豊かな人間性の育成
（2）　いじめ・不登校等の対策の推進
（3）　薬物乱用防止教育の推進
（4）　多文化共生社会の推進
（1）　一人ひとりを大切にした特色のある幼児教育の推進
（1）　【重点施策】学校マネジメントの強化
（2）　家庭や地域と連携した学習活動の充実
（1）　秦野の特色ある教育の推進
（1）　学校における働き方改革の推進
（1）　学校施設長寿命化の推進
（2）　学校における省エネ対策の推進
（3）　学校管理下の安全確保の推進
（4）　学習機会の保障
（1）　小・中学校教育に必要な教材・教具の整備
（2）　学校教育の情報化の推進
（3）　【重点施策】中学校給食の推進
（4）　読書環境の整備
（5）　教育施設の一体的整備の推進
（1）　地域コミュニティの活動拠点としての公民館事業の充実
（1）　【重点施策】魅力ある地域学習の推進
（1）　家庭教育支援の充実
（1）　市民の生涯学習を支える読書活動への支援
（2）　効率的で質の高いサービス提供体制の確立
（1）　【重点施策】子ども読書活動の推進
（1）　施設長寿命化の推進
（1）　歴史資源等の保存・管理の推進
（1）　【重点施策】文化財・歴史資源等の活用の推進

第３章　教育委員会組織

１　教育委員会事務局組織



※実線は教育委員会事務局、破線は補助執行、二重線は学校・その他教育機関等を表す。
※補助執行とは、事務の権限を教育委員会に残したまま、市長部局の職員に事務を執行させること。

２ 事務分掌

課名	担当名	業　務　内　容
教育総務課	教育総務担当	○部内の庶務に関する事務 ○部内の予算執行及び施策の調整に関する事務 ○教育行政の総合的な企画調整に関する事務 ○教育行政の相談に関する事務 ○教育委員会の会議に関する事務 ○総合教育会議に関する事務 ○教育委員会の交際及び秘書に関する事務 ○幼稚園に関する事務（他の所管に属するものを除く。） ○教育委員会規則等の制定、改廃及び公告に関する事務 ○表彰に関する事務 ○公印に関する事務 ○事務局及び学校（県費負担教職員を除く。）その他教育機関の職員の任免、その他人事に関する事務 ○学校、幼稚園、その他の教育機関の職員の研修（教育指導課の所管に係る研修を除く。）に関する事務 ○寄附金等の受入れに関する事務 ○教育研究所の設置及び廃止に関する事務 ○教育委員会事務局内の連絡調整に関する事務 ○教育に関する調査統計に関する事務 ○文書の収受、発送及び保存に関する事務
	施設管理担当	○学校教育施設の設置及び廃止に関する事務 ○学校教育施設の整備及び維持管理に関する事務 ○学校教育財産の取得処分及び廃止に関する事務 ○学校教育財産の災害共済に関する事務
	学校整備推進担当	○学校教育施設の整備計画に関する事務 ○学校教育施設の複合化に関する事務
学校教育課	学務保健担当	○学級編制に関する事務 ○学齢簿の編製、整備及び保管に関する事務 ○児童及び生徒の就学及び転入学に関する事務 ○学校図書館の管理運営に関する事務 ○児童及び生徒の就学援助に関する事務 ○教育関係団体の補助に関する事務 ○公益財団法人秦野ロータリー奨学基金との連絡調整に関する事務 ○学校保健及び安全に関する事務 ○校医及び園医の人事に関する事務 ○学務、学校保健及び安全関係調査統計に関する事務
	学校ICT推進担当	○通学区域の編成に関する事務 ○教科用図書、教材・教具等に関する事務 ○通学路に関する事務 ○学校教育の情報化の推進、学校ＩＣＴの環境整備に関する事務
	学校給食担当	○学校給食に関する事務 ○給食関係調査統計に関する事務 ○学校給食費の扶助に関する事務 ○学校給食費の徴収及び管理に関する事務 ○学校給食運営審議会に関する事務 ○学校給食センターの管理運営に関する事務
教職員課	教職員担当	○県費負担教職員の人事に関する事務 ○県費負担教職員の定数の内申に関する事務 ○教職員の免許状に関する事務 ○県費負担教職員の服務に関する事務 ○県費負担教職員の公務災害補償に関する事務 ○県費負担教職員の福利厚生に関する事務 ○教職員互助会に関する事務 ○教育支援助手、介助員等の任免その他人事に関する事務

課名	担当名	業　務　内　容
教育指導課	学習支援担当	○教育課程の指導及び助言に関する事務 ○学校運営に係る指導及び助言に関する事務 ○学校の児童・生徒指導に関する事務 ○教職員の教科指導等に係る研修に関する事務 ○教科用図書の採択及び教材等の取扱いに関する事務 ○学校運営協議会に関する事務
	教育支援担当	○特別支援教育に関する事務
教育研究所	教育研究担当	○学校教育の研究調査に関する事務 ○教育内容の改善に関する事務 ○教職員等の研修に関する事務 ○研究調査の結果の発表及び出版に関する事務 ○教育に関する図書及び資料の収集、整理並びに提供に関する事務 ○教育相談に関する事務 ○児童・生徒教育支援教室等の運営に関する事務 ○前各号に掲げるもののほか、秦野市教育研究所の目的達成に必要な事務
	乳幼児教育センター	○乳幼児教育センターの管理運営に関する事務

（補助執行）

課名	担当名	業　務　内　容
生涯学習課	生涯学習担当	○生涯学習施策の総合調整に関する事務 ○社会教育委員の会議に関する事務 ○社会教育関係団体の指導育成に関する事務 ○社会教育の講座、講演その他の開設及び奨励に関する事務 ○公民館の運営及び維持管理に関する事務
	文化財・市史担当	○文化財の保存管理及び啓発活用に関する事務 ○文化財保護委員の会議に関する事務 ○はだの歴史博物館の運営及び維持管理に関する事務 ○市史編さんに関する事務 ○市史資料の保存管理及び啓発活用に関する事務
図書館	図書館担当	○図書館活動の企画及び運営に関する事務 ○図書館の運営並びに施設及び設備の維持及び管理に関する事務 ○秦野市図書館協議会の運営に関する事務 ○他機関及び関係団体との連絡及び協力に関する事務 ○図書館資料（図書館法（昭和２５年法律第１１８号）第３条第１号に掲げる資料をいう。）の運用に関する事務 ○前田夕暮記念室の運営及び維持管理に関する事務 ○視聴覚ライブラリーに関する事務

3　事務局の職員数

令和7年4月1日現在

区分		職員数	左の内訳							
			事務職員	技術職員	指導主事	教諭	社会教育主事	業務員	学芸員	司書
教育部	教育総務課	16	14			1		1		
	学校教育課	16(1)	12	3						1(1)
	教職員課	3			3					
	教育指導課	8			8					
	教育研究所	8(2)			8(2)					
合計		51(3)	26	3	19(2)	1		1		1(1)

※職員数の内訳の( )の数は、暫定再任用職員の内数
※教育総務課には、教育部長を含む
※平成29年4月から、補助執行機関である文化スポーツ部生涯学習課の職員が社会教育主事を兼務

第４章　令和７年度教育予算

１　予 算 額

令和７年度教育費当初予算額は４８億４，５７８万１千円で一般会計予算に占める割合は７．６％、前年度と比較して４億２，４６６万３千円、９．６％の増となりました。

令和７年度の主な施策として、子どもたち一人ひとりの学力や、学習意欲の基盤となる非認知能力に着目した「学びの基盤プロジェクト」を軸に、寺子屋方式の放課後学習支援事業の拡充や、読解力向上ワークシートの新規導入などにより、引き続き、教育水準の改善・向上を図ります。

また、学校における働き方改革をさらに推進するため、部活動の地域移行に加え、児童生徒の泳力向上を目的として、水泳指導の民間委託実証事業にも取り組み、教職員が子どもと向き合う時間の確保を目指します。

子どもたちの生きる力を育む教育環境づくりの推進では、次世代を見据えた教育基盤の整備として、児童生徒数の減少や学校施設の耐用年数などを踏まえ、昨年９月に策定した「みんなで考えるみらいの学校整備指針」をもとに、整備時期が最も早い大根中学校区において、地元で組織する「大根中学校区学校整備懇話会」などとの意見交換を積み重ねながら、学校整備構想の策定を進めます。

さらに、児童生徒一人１台の学習用端末を計画的に更新するとともに、通信環境を改善し、デジタルを活用した学びの充実を図ります。

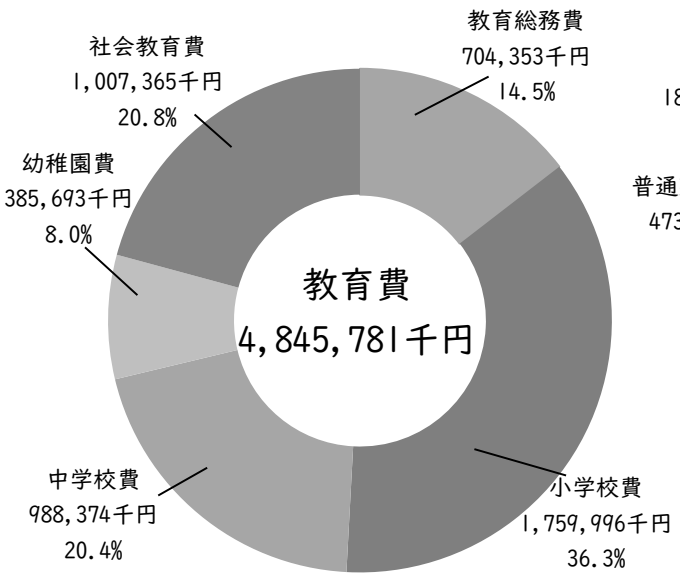
教育・保育環境の充実としては、公立幼稚園で実施している「未就園児交流」を拡充し、本町、北及び西の３園において、３歳児を対象とするプレ保育を試行的に実施します。

２　教育費の内訳

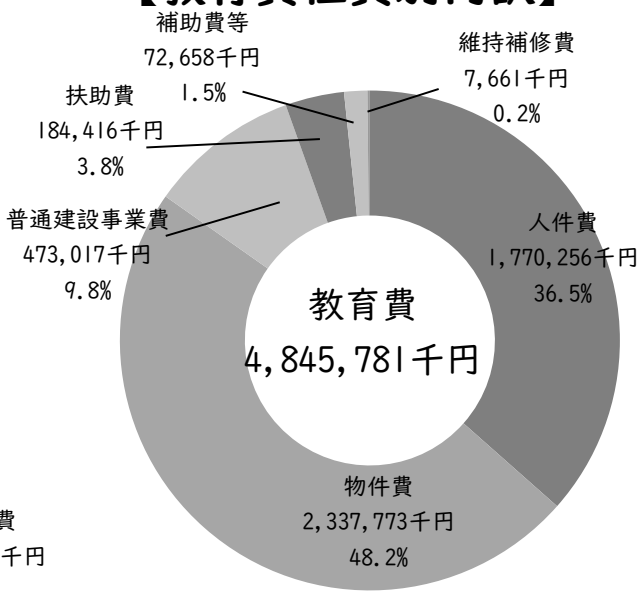
令和７年度教育費に占める割合を目的別にみると、教育総務費１４．５％、小学校費３６．３％、中学校費２０．４％、幼稚園費８．０％、社会教育費２０．８％となっています。

また、性質別に見ると、消費的経費では、人件費が３６．５％、物件費が４８．２％、扶助費３．８％、補助費等１．５％、維持補修費０．２％となり、投資的経費の普通建設事業費は９．８％となっています。

【教育費目的別内訳】



【教育費性質別内訳】



3　教育費予算額

（単位：千円・%）

区分		R7年度予算額	R6年度予算額	比較増減	対前年度比
1 教育総務費	1　教育委員会費	8,415	8,431	△ 16	△ 0.2
	2　事務局費	560,234	538,135	22,099	4.1
	3　教育研究所費	135,704	125,856	9,848	7.8
	小　計	704,353	672,422	31,931	4.7
2 小学校費	1　学校管理費	550,435	562,760	△ 12,325	△ 2.2
	2　保健給食費	1,005,348	945,357	59,991	6.3
	3　教育振興費	163,933	142,436	21,497	15.1
	4　学校建設費	40,280	30,655	9,625	31.4
	小　計	1,759,996	1,681,208	78,788	4.7
3 中学校費	1　学校管理費	270,579	278,213	△ 7,634	△ 2.7
	2　保健給食費	649,910	630,462	19,448	3.1
	3　教育振興費	60,905	55,164	5,741	10.4
	4　学校建設費	6,980	10,722	△ 3,742	△ 34.9
	小　計	988,374	974,561	13,813	1.4
4 幼稚園費	1　幼稚園総務費	378,000	371,479	6,521	1.8
	2　保健給食費	7,693	8,206	△ 513	△ 6.3
	小　計	385,693	379,685	6,008	1.6
5 社会教育費	1　社会教育総務費	122,454	95,741	26,713	27.9
	2　文化財保護費	58,256	35,045	23,211	66.2
	3　公民館費	553,563	363,246	190,317	52.4
	4　図書館費	273,092	219,210	53,882	24.6
	小　計	1,007,365	713,242	294,123	41.2
教育費予算額合計		4,845,781	4,421,118	424,663	9.6
一般会計予算額		64,070,000	60,580,000	3,490,000	5.8
一般会計に占める教育費の割合		7.6	7.3		

※当初予算額

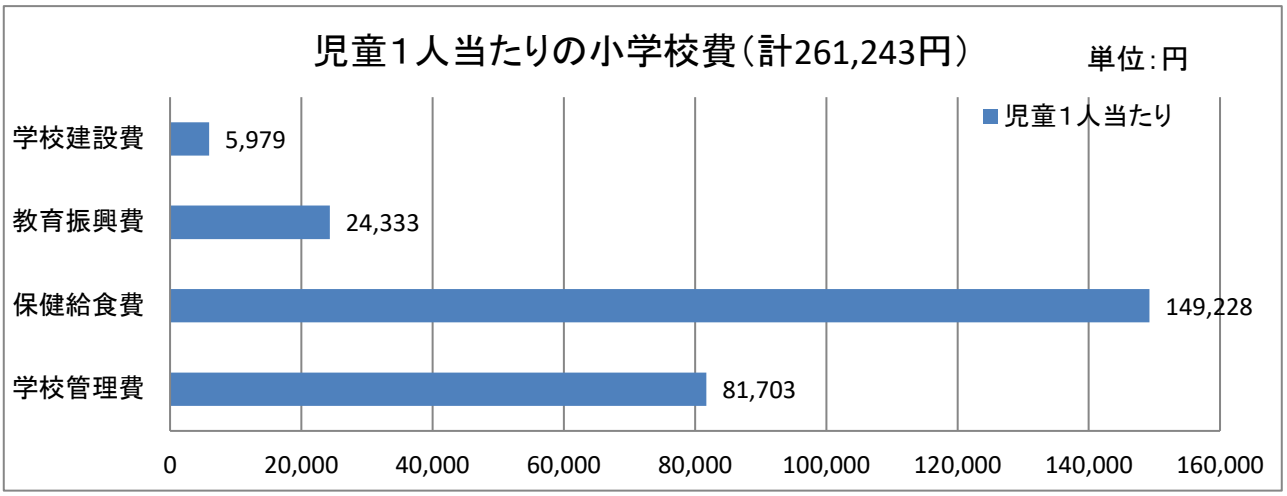
4　教育関係施設工事一覧

所管課	工事名
教育総務課	東小学校北棟及び渡り廊下屋上防水改修工事
	本町小学校屋内運動場床改修工事
	渋沢中学校格技室床改修工事
生涯学習課	堀川公民館外壁工事
	大根公民館空調設備更新工事
	大根公民館照明設備更新工事
	渋沢公民館高圧引込設備更新工事
	鶴巻公民館エレベーター改修工事
	はだの歴史博物館照明設備更新工事
図書館	図書館照明設備更新工事
	空調機器改修工事

5　令和７年度予算における園児、児童及び生徒１人当たりの教育費

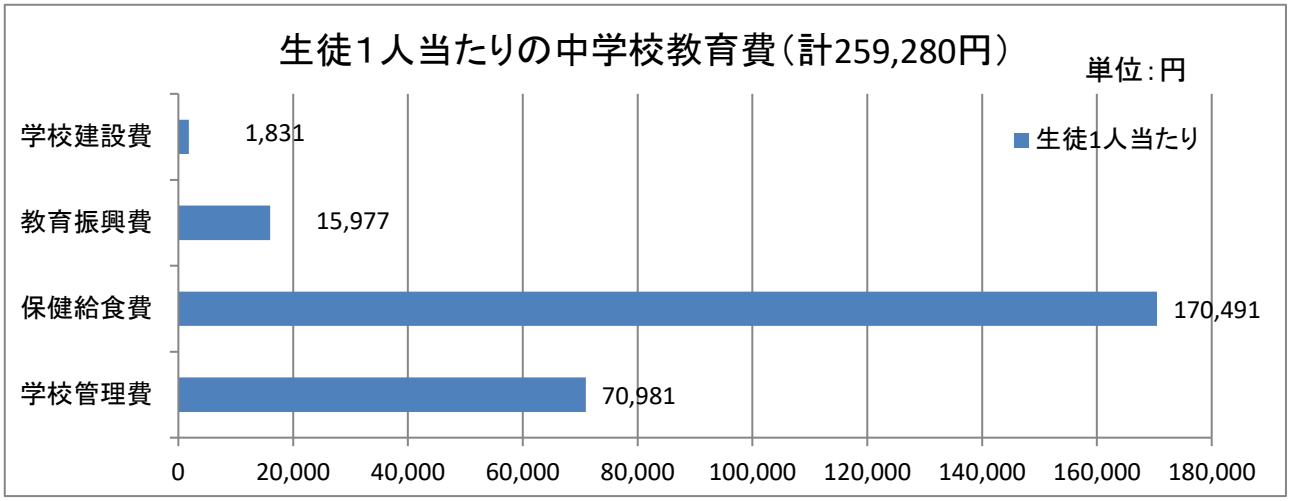
（園児、児童及び生徒数は5月1日現在）

（1）小学校



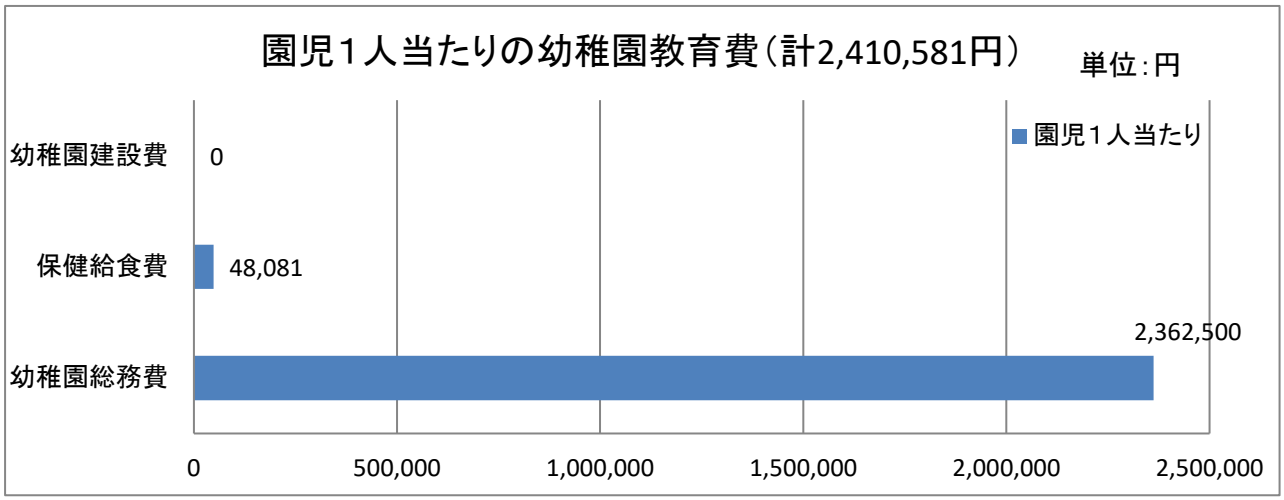
総児童数：6，737人

（2）中学校



総生徒数：3，812人

（3）幼稚園



総園児数：160人

第２編　学 校 教 育

Ⅰ　教育指導課事業

(1)　学力向上推進事業

ア　推進事業

名　　称	内　　容	対　象	期 日
教科学習支援員 派遣事業 （平成 25 年度～）	東海大学との連携により、教科学習支援員として各校に学生ボランティアを派遣し、各教科における学習支援等の充実を図る。	市内すべての 小・中学校	通年
小・中学校 教育支援助手 派遣事業 （平成 14 年度～）	各校において、個別最適な学びの実現を目指し、教育支援助手（66 名）を各校へ派遣する。	市内すべての 小・中学校	通年
小学校英語教育 支援協力者派遣事業 （平成 30 年度～）	小学校における英語教育の充実を図るため、小学校英語指導者認定協議会(J-SHINE)の認定資格を有する講師４名を派遣する。	広畑小 上小	通年
学力向上アドバイザー 事業 （平成 30 年度～）	教育水準の改善・向上を図るため、様々な分野の有識者を講師として招聘する。	市内すべての 小・中学校	年 25 回
学習支援事業 メンタルフレンド （平成 13 年度～） カレッジフレンド （平成 25 年度～）	インクルーシブ教育の実現と学生に対する教師の魅力発信を目的に、東海大学・上智大学短期大学部と連携し、学生ボランティアを派遣する。	派遣を希望する小・中学校	通年
みらいの学び アクションプラン （旧：学びのステップ アップ講座 （令和３年度～）	バディーとなる指導主事とともに、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、令和の日本型学校教育となる協働的な学びと個別最適な学びにつながるよう授業力を向上させる。	教員歴 10 年以下の希望する教員	年５回 程度
教育支援 アドバイザーの派遣 （令和２年度～）	様々な教育課題の解決を図るため、教育行政並びに学校運営等に精通した学識経験者をアドバイザーとして１名を配置する。	小・中学校 私立園	通年
学びの基盤 プロジェクト （令和３年度～）	小学校４年生から中学校３年生までの学習の定着度や学習意欲の基盤となる「非認知能力」の伸びを把握し、児童生徒個々の成長を記録した「学びのカルテ」を作成し、学びのスタイルの変革を目指す。（令和６年度より市内全校が参加）	市内全校	通年

名　　称	内　　容	対　象	期 日
義務教育学校モデル校 研究推進委託事業	義務教育学校もしくは小中一貫校の設置に向け、地域と協働しながら、教育水準の改善・向上を図るための取組を推進する。 また、教科担任制・小中一貫教育接続コーディネーターの教員を重点配置することで、モデル校が主体的に研究推進できるよう支援する。	北中学校区 大根中学校区 東中学校区	通年
早寝早起き朝ごはん 推進校事業 （令和２年度～）	幼児期からの適切な運動、十分な休養・睡眠などといった基本的な生活習慣の維持・向上、定着を図るために大学等の有識者と連携して調査研究を行う。	渋沢中学校区	通年
県学びづくり推進地域 研究委託事業 （平成 29 年度～）	県教育委員会と連携しながら、授業力の向上を目指し、各校が授業実践を通して主体的に研究に取り組み、研究会等により市全体で成果を共有する。	渋沢中学校区	通年
新聞を活用した 教育実践研究 （令和３年度～）	日本新聞協会が主催するＮＩＥ実践指定校として、学校教育の中で新聞を教材として活用する取組を通して、読解力等の育成を図る。	本町小学校 東小学校 西小学校 南中学校 東中学校	通年 （原則 ２年）
読書活動の推進に 関する実践研究 （令和３年～）	読書習慣の定着をはかるため、５月から、第一月曜日を「よむよむＤＡＹ」として市内一斉の読書活動の推進を図るとともに、推進校では朝読書や電子書籍の試行等に取り組み、さらには推進重点校において学校図書の地域開放等を通じて、読書習慣の定着を図る。	小学校 全校 中学校 東・北・渋沢 よむよむＤＡＹは 市内全園校	通年
読解力向上 プロジェクト	大手新聞社と協同し、「資料から必要な情報を読み取り、根拠を明確にして考えを記述する学習活動」を充実させるため、ワークシートの取組により、読解力の向上を図る。	小学５年生 全児童 中学校Ｉ年生 全生徒	通年
OMOTAN 読書レター （読書検定）	本を読んで最も感動した「ワンセンテンス」を見つけ、その「感動理由」を紹介する取組で、優れた作品を「読書検定」に市代表として推薦を行う。	希望する学校	通年

名　　称	内　　容	対　象	期 日
民間企業と連携した消費者・金融教育の推進	金融教育及び消費者教育の推進を図るため、横浜銀行や第一生命の社員をゲストティーチャーとして、オリジナルの教材等を活用した授業を実施する。	本町小・西小 上小・末広小 堀川小・鶴巻小 本町中・北中 西中・南が丘中	随時
「秦野ふるさと科」の推進	義務教育学校の設立における学びの充実の柱と位置付ける「秦野ふるさと科」の導入に向けた実践研究を行う。	本町小・南小 北小・広畑小 渋沢小・末広小 南が丘小	通年

イ　会議・研修等

名　　称	内　　容	対　象	期 日
小中学校 英語教育 担当者会	小・中学校英語教育担当者と外国語指導助手（５名）が英語教育活動の進め方や課題について連絡、協議及び研修を行う。	外国語指導助手 （ＡＬＴ） 中学校英語教員 小学校担当教員	４月 ８月
小・中学校 教育支援助手研修会	教育支援助手としての指導力の向上を図り、個別最適な学びの実現に向けた児童生徒への支援のあり方について研修を行う。	教育支援助手	４月 ７月

(2)　いじめ・不登校対策事業

ア　推進事業

名　　称	内　　容	対　象	期 日
いじめ対策等 巡回教育相談事業	合理的配慮が求められる児童生徒への支援や、いじめ問題を中心とした具体的な対応について助言するため各校に公認心理師等を派遣する。	小・中学校教員 保護者	年 35 回 程度
スクール カウンセラーによる 相談体制の充実	県教育委員会との連携により、いじめ･不登校等の未然防止や早期対応に向けて、専門的知識を有する臨床心理士等を「スクールカウンセラー」として小・中学校に派遣する。	児童・生徒 保護者 教職員	通年
スクール ソーシャルワーカー による相談体制の充実	県教育委員会との連携により、主に家庭環境を背景とした問題行動等の未然防止や早期対応、また、学校と家庭、関係機関との連携に向けて、専門的知識を有する「スクールソーシャルワーカー」を小・中学校に派遣する。	児童・生徒 保護者 教職員	通年

名　　称	内　　容	対　象	期 日
学校・警察 連絡協議会	問題行動等の未然防止を図るため、学校と警察等の関係機関との情報連携・行動連携を推進する。	小・中学校教員 警察関係者 等	年９回
秦野こども 未来づくり会議 （平成 20 年度～） ※令和５年度より 名称変更	こども基本法の施行に伴い、いじめが起こらない学校づくりや持続可能なまちづくりのために、各小・中学校代表が委員として年間を通じて意見交換や協議を行う。第３回は、11 月１日（土）の報徳サミット及び３日（月）70 周年記念式典に参加する。	児童・生徒 小・中学校教員 ＰＴＡ代表 関係機関 等	６月 ８月 11 月
秦野市いじめ問題 対策調査委員会 （平成 27 年度～）	いじめ防止対策推進法第 28 条に位置付けられた第三者委員会として組織し、いじめの重大事態の調査を行うとともに、本市のいじめ対策について専門的な立場から助言を行う。	学識経験者 弁護士、医師、 心理・福祉関係 有識者	年数回
秦野市いじめ問題 対策連絡協議会 （平成 28 年度～）	いじめ対策の推進を図るため、いじめ防止対策推進法第 14 条に基づき組織し、各校と関係機関の情報連携を行い緊密な行動連携につなげていく。	小・中学校 児童生徒指導 担当教員 関係機関	年２回
はだのっ子あんしん 相談ルーム （令和６年度～）	児童生徒が抱えているいじめや不登校などの諸課題に対して、一人一台端末を利用し、迅速かつ適切な組織的、専門的対応につながる相談窓口を開設して、重大な事案等の未然防止徹底を図る。	児童生徒	通年

イ　会議・研修会等

名　　称	内　　容	対　象	期 日
児童生徒指導 担当者会	児童生徒指導関係事業について各校に周知を図り、問題行動等の未然防止につなげる。	児童生徒指導 担当教員 関係機関	年１回
教育相談 コーディネーター 担当者会	合理的配慮を求められる中、支援教育を推進するため、関係機関との連携など具体的な方策について協議等を行う。	教育相談担当 関係機関	年１回

(3)　地域とともにある学校づくり推進事業

名　　称	内　　容	対　象	期 日
地域学校協働活動 （子どもを育む中学校区懇談会事業）	学校・家庭・地域が互いに連携し、部活動を含め様々な教育活動において教育活動を支援し、子どもたちの健全育成を図る。	各中学校区	通年

名　　称	内　　容	対　象	期 日
寺子屋学習支援事業 （令和元年度～） ※令和５年度より生活支援事業と一体化	市民力を活用したボランティア等による放課後の学習支援の充実を図る。 令和５年度からは生活援護課が中心となって行ってきた生活支援事業との一体化を図り、学習支援を必要とする児童生徒が、より通室しやすい環境整備を推進する。	各中学校区	通年
コミュニティ・スクール 実践研究事業 （平成 27 年度～）	地域とともにある学校づくりを進めるため、コミュニティ・スクール制度の導入とその成果や課題について研究を深め、保護者や地域住民の参画を得ながら学校運営の改善や学校の機能強化を図っていく。	**設置校（18 校）** ・本町中学校区 ・西中学校区 ・南が丘中学校区 ・渋沢中学校区 ・東中学校区 ・大根中学校区 ・北中学校区 **新規設置校（４校）** ・南中学校区 ・鶴巻中学校区	通年
コミュニティ・スクール 連絡協議会 （平成 30 年度～）	学校運営協議会委員及び教職員を対象とした有識者による講演会や情報共有、意見交換などを行い、コミュニティ・スクールの推進体制の構築を図る。	学校運営協議会委員及び教職員等	年２回程度

(4)　支援教育推進事業

ア　推進事業

名　　称	内　　容	対　象	期 日
秦野市 教育支援協議会	特別な支援を必要とする児童生徒等に対し、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な就学相談等を実施することで、就学後の支援方針を明確にする。	教育支援委員	５月 ８月 10 月 12 月 １月 計５回
特別支援学級 介助員事業	特別支援学級介助員（56 名）を派遣し、特別支援学級在籍児童生徒の学習活動や日常生活の支援を行い、特別支援教育の充実を図る。	小・中学校 特別支援学級	通年
通級指導教室 巡回相談事業	通級指導を活用する児童生徒の支援を充実させるため心理の専門家等を各校に派遣し、担当者の資質向上を図る。	本町小･末広小 西小･渋沢小 大根小 渋沢中･本町中 大根中･東中	通年

名　　称	内　　容	対　象	期 日
機能訓練士派遣事業	主に身体機能に係る合理的配慮を必要とする児童生徒の生活スキルを高めるため、機能訓練士を派遣する。	支援を希望する児童・生徒	通年
通級指導教室入級審査会	通級指導教室への入級を希望する児童生徒について協議し、必要な教育的支援について検討する。	教育支援協議会副座長 担当教員 臨床心理士	年３回
特別支援教育コーディネーター派遣事業	合理的配慮を要する児童生徒への支援を充実させ、インクルーシブな学校づくりを推進するため各園校への指導助言及び保護者への相談業務を担う。	園・校教職員	通年
インクルーシブな学校運営モデル事業	インクルーシブ教育の実現に向け、障害の有無にかかわらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し合える共生社会の実現を目指し、具体的な教育活動を実践する。（文科省委託事業）	末広小学校 秦野支援学校	通年（R6 より３年間）
インクルーシブ教育システム構築のための研修モデル事業（国立特別支援教育センター指定事業）	インクルーシブ教育の実現に向けて特総研とともに検討し、教員が特別支援教育の視点を持ち、スキルを高められるように、研修等の充実を図る。	（北中学校） 小・中学校教員	通年（R6 より２年間）

イ　会議・研修等

名　　称	内　　容	対　象	期 日
特別支援教育担当者会	特別支援教育の充実に向けた諸課題について研究・協議を行う。	特別支援学級担当教員	４月 ３月
通級指導教室担当者会	小・中学校における通級指導教室経営のあり方や支援等について協議する。	通級指導教室担当者	４月 ８月
小中一貫特別支援教育担当者研修会（相互授業研究会）（平成 22 年度～）	中学校区ごとに、特別支援学級担当者による授業公開、研究協議を行い、育ちと学びの連続性の確保に向けた教育活動の充実を図る。	小・中学校特別支援学級担当者	各中学校区による
特別支援学級介助員研修会	支援教育についての知見や発達に特性のある児童生徒への支援のあり方や適切な関わり方ができるよう研修を行う。	特別支援学級介助員	４月 ７月

(5)　国際理解教育推進事業

ア　推進事業

名　　称	内　　容	対　象	期 日
国際理解教育 推進事業	外国語支援助手（ＡＬＴ）や専科教員等の配置、上智大学短期大学部と連携することで、新しい学習指導要領に対応したコミュニケーション能力等の育成につなげる。	小・中学校	通年 （担当者会は 4･8 月）
	東海大学との連携により異文化理解講座を実施し、海外の文化について理解、尊重する態度を養う。	大根小 広畑小	６月 予定
小学校外国語 授業支援委託事業 （ｲﾝｸﾞﾘｯｼｭﾌﾚﾝﾄﾞとして平成 24 年度より実施）	上智大学短期大学部と連携し、小学校における外国語活動において、専門的に英語教育を学んでいる大学生の授業実践を取り入れることにより、教室での児童の体験活動の充実を図る。	小学校 ３～４年生	通年
日本語指導協力者 派遣事業	外国にルーツがあり、日本語指導を必要とする児童生徒への個別の支援を行い、より充実した学校生活が送ることができるよう、日本語指導協力者を派遣する。11 か国語 13 名配置。	幼稚園 こども園 小・中学校	通年
プレスクール・ プレクラス事業	日本語の習得が十分でない幼児や来日して間もない、日本語の習得が十分でない児童・生徒への支援体制について大学等と協働しながら支援を行う。	幼稚園 こども園 小・中学校	通年

イ　会議・研修等

名　　称	内　　容	対　象	期 日
日本語指導担当者 連絡会	日本語指導を必要とする児童生徒の支援のあり方について各校の担当者が日本語指導協力者とともに協議する。	日本語指導 担当教員 日本語指導 協力者	４月
国際理解教育研修会	外国とつながりのある児童生徒の適切な支援のあり方について研究・協議する。	小・中学校 国際教室 担当教員 小中学校教職員	５月 10 月

(6)　その他教育指導関係事業

ア　推進事業

名　　称	内　　容	対　象	期 日
文部科学省地方教育アドバイザー派遣	文部科学省よりアドバイザーを招き、計画の策定や施策の企画立案に係る助言をはじめ、先進事例や好事例等の情報提供や助言を受け、教育施策の充実につなげる。	教育委員会	通年
学びのステップアップ（教育課程）研究推進委託事業	教育水準の改善・向上を図るため、教育課程実施上の諸課題への対応や、授業力向上に向けた教育について主体的に研究に取り組む。	市内すべての幼稚園 こども園 小・中学校	通年
部活のみらいグロースプロジェクト	持続可能な部活動のあり方について、国や県と連携しながら休日の部活動を段階的に地域移行していくことを目指し、３つの秦野スタイルを軸として調査研究等を行う（令和３年度から部活動スタートアップ事業として着手）。 また、学校における部活動の指導体制の充実及び今後のあり方について検討するため、中学校部活動検討委員会を開催する。（年２回、管理職・教員・保護者代表他、平成 15 年度～）	東中・大根中 南が丘中 他各専門部	通年
部活動指導協力者派遣事業（平成 10 年度～）	部活動における指導の充実を図るため、専門的知識・技能を有する指導協力者を有償ボランティアとして中学校へ派遣する。	各中学校	通年
体力向上アドバイザー事業（平成 12 年度～）	市の指導主事や元中学校体育教員等を各校に派遣し、体力向上に向けた取組を強化する。	小・中学校	通年
学校における水泳指導業務委託の実証事業	民間指導員の専門的かつ効率的な泳力に応じたグループ別指導による児童生徒の泳力向上を図るとともに、水泳指導及びプール管理に関する教職員の負担軽減を目指す。	渋沢小 末広小 大根小 広畑小 南が丘中	５月から９月末

イ　会議・研修会等

名　　称	内　　容	対　象	期 日
学校マネジメント研修会	園長・校長を対象として、教育水準の改善・向上に資するため、魅力ある学校づくりに向けたマネジメントのあり方と園小中一貫教育の推進について協議等を行う。	園長・校長	園長校長会に併せて

２　教育研究所事業

(1)　園小中一貫教育研究事業

名　　称	内　　容	対　象	期 日
園小中一貫教育 研究委託事業 （平成 23 年度～）	公私・園種を問わず幼児・児童・生徒の育ちと学びの連続性を確保するため、幼稚園・こども園から小学校、中学校までの一貫した教育について、教育課程のあり方や、秦野の豊かな自然環境を生かした教育活動も含む望ましい連携・接続のあり方等について、中学校区ごとに調査研究する。 また、東中学校区については防災教育を推進する。	各中学校区	通年

(2)　調査研究事業

名　　称	内　　容	対　象	期 日
ＣＢＴ実証事業	評価と指導の一体化による更なる授業改善を図るため、秦野と世界の学びのベクトルの架け橋となる人材であるグローカルリーダーを中心に、ＣＢＴ（※タブレット端末等を用いて試験を行うこと）導入等についての研究を行う。	公募	通年
教育情報の 収集・調査・提供	教育水準の改善・向上を図るため、視聴覚資料･図書･教育研究資料･指導案等の有効活用や、教育課題の調査等を行う。	教職員等	随時

(3)　教育研修事業

名　　称	内　　容	対　象	期 日
教職経験者研修	教員のライフステージに沿った研修体系を踏まえ、学習指導や学級経営に必要な専門的な知識や技能を習熟し、実践的指導力の向上を図る。 ・保育実践研修（幼稚園・こども園） ・４年次研修（小・中学校） ・８年次研修（小・中学校） （１年・４年・中堅教諭･20 年経験者研修は県教育委員会主催により実施）	各研修 該当教員	通年
初任者研修	教員としての自覚を高め、指導スキル等の向上に向けて研修を行う。	新規採用教員	５月 ６月 ７月 ８月

名　　称	内　　容	対　象	期 日
教育講演会 教育研究発表会	民間園を含め教職員に向け、今日的教育課題をテーマとする講演会を実施するとともに、調査研究の研究成果等の発表を通して広く周知を図り、今後の教育活動の充実につなげる。	教職員等	８月
ジュニア防災リーダー育成研修会	避難所運営の再現を含めた、児童生徒参加型の防災教室を行う。	北小中学校 大根中学校	９月 予定

(4)　はだのっ子アワード事業

名　　称	内　　容	対　象	期 日
体験活動部門 （平成 19 年度～）	ふるさと秦野を愛する子どもの育成を推進するため、本市の文化財、史跡、建造物、野鳥、昆虫、植物、人物等について、体験マップをもとに市内をめぐる体験活動を実施する。	希望する 児童・生徒 学校・学級	通年
ふるさと秦野検定部門 （平成 19 年度～）	ふるさと秦野を愛する子どもの育成を推進するため、本市の文化財、史跡、建造物、野鳥、昆虫、植物、人物等について、難易度別のご当地検定を行う。（令和７年度は、市制施行 70 周年に合わせ、11 月には「第 30 回全国報徳サミット秦野大会」も開催されることから、「ふるさと秦野検定報徳バージョン」を実施する。）	希望する 児童・生徒 学校・学級	７月 12 月 通年
読書活動部門 （令和３年度～）	児童生徒が読書に親しみ、読書検定等を通じて、多くの本と出合う機会を作るとともに、読書活動に励む児童を褒め、認めることで、読書活動の推進を図る。	希望する 児童・生徒 学校・学級	通年

(5)　環境教育推進事業

名　　称	内　　容	対　象	期 日
学校環境管理システム事業 （平成 21 年度～）	学校版環境ＩＳＯ事業「エコキッズはだの」として、ＳＤＧｓの理念も視野に入れ、将来ゼロカーボンシティを担う子どもの育成を目指し、園校において環境教育を推進する。	幼稚園・ こども園 小・中学校	通年
効果定量型省エネ教育プログラム事業 （令和５年度～）	体験学習を通して、身近にできる省エネ行動への「気づき」を促す「効果定量型省エネ教育プログラム」を企業と連携し実施する。	大根小 渋沢小 南が丘小	6 週間

(6)　学校ＩＣＴ推進事業

名　　称	内　　容	対　象	期 日
ＩＣＴ支援員事業	ＩＣＴを活用した校務の効率化及び教育活動の充実を図るため、専門的な知識を有するＩＣＴ支援員を配置する。	小・中学校	通年

(7)　教育支援教室事業（いずみ）

名　　称	内　　容	期 日
支援教室連絡会	心理や福祉の専門家を専門相談員として任用し、通室する児童生徒一人ひとりの課題について理解を深め、具体的方策に生かすとともに、教室運営上の諸課題について協議を行う。	毎週 金曜日
入室支援検討会議	入室を希望する児童生徒について、指導主事が参加し、教育支援教室での支援を含め、具体的方策を検討する。	随時
拡大保護者会	通室する児童生徒の保護者及び新たな学びの場を必要とする児童生徒の保護者を対象とする懇談会を開催し、保護者同士の交流や情報交換を行うとともに、子どもへの関わり方等について専門相談員から助言を受ける。	年３回
専門相談員事業	教育支援教室及び各小中学校における不登校児童生徒等の個別の支援のために、臨床心理士やスクールソーシャルワーカー等の専門家より助言を受ける。	随時
社会人講師活用事業	通室生が専門的な知識や技術を有する社会人講師の指導のもと、社会体験活動を行う。	随時

(8)　訪問型個別支援事業（つばさ）

名　　称	内　　容	期 日
訪問型個別支援事業	様々な要因により学校に行きたくても行けない児童生徒とその保護者への支援を行うため、室長を１名配置し、旧上幼稚園舎を拠点として訪問型の個別支援を行う。 また、はだのE-Labをつばさのサテライトとして活用する。	通年
スクールソーシャルワーカー等派遣事業	コミュニティルームつばさに通室する児童生徒とその保護者を中心に、心理や福祉等の資格や経験を有する専門家を配置し、より適切な支援につなげる。	通年
はだのっ子あんしん相談室 （令和２年度～）	いじめや不登校あるいは家庭の経済的状況に係る諸課題に対して、迅速かつ適切な組織的、専門的対応につながる電話相談窓口を開設して、重大な事案等の未然防止徹底を図る。	通年

(9)　デジタルフリースクール事業

名　　称	内　　容	期 日
はだのっ子ｅスクール事業	新たな学びの場を求めている子どもたちへの支援拡充を図るため、デジタルフリースクールとなる「はだのっ子ｅスクール」を開設し、支援を行う。本事業の運営に当たっては、地域のｅスポーツ協会と連携を取り、オンラインによる不登校支援を展開し、関係機関につなげる支援を行う。	通年

(10)　乳幼児教育センター事業

ア　推進事業

名　　称	内　　容	対　象	期 日
「架け橋期のカリキュラム」実践研究事業	「幼保小の架け橋プログラム」の進捗と並行しながら、育ちと学びの連続性を意識した「架け橋期のカリキュラム」について研究推進を図る。 今年度は、渋沢小学校区において民間園とも協働した実践研究を実施する。	渋沢小学校区	通年

イ　会議・研修等

名　　称	内　　容	対　象	期 日
秦野市幼・保連絡協議会	市内公私立幼稚園・こども園、私立保育園における保育指導並びに園経営上の諸問題について研究協議し、共通理解を深める。	公私立幼稚園長 公私立こども園長 私立保育園長	年３回
公私合同乳幼児教育・保育研修会	乳幼児期の教育と小学校教育の滑らかな接続を考え、乳幼児の育ちと学びの連続性を保障した研修を行い、公私・園種を超えた小学校との接続に向けた課題等について研鑽を高める。	公私立幼稚園 公私立こども園 私立保育園 公立小学校 （教職員）	年２回
幼稚園・こども園等保育実践研修会	乳幼児の保育士・教師が専門職として指導力の向上を図ることができるよう、公私で互いに学び合うための機会を設ける。 また、経験年数に応じた課題について研修を深め、一人ひとりが資質を高めて自園での保育に活かすことで、市内全体の保育の質の向上を図る。	公私立幼稚園 公私立こども園 私立保育園 （２～９年次の乳児クラス担任、幼児クラス担任）	・乳児版 年２回 ・幼児版 年３回

ウ　教育相談事業

名　　称	内　　容	対　象	期 日
早期療育事業	就園前の幼児を対象に、家庭生活から園生活がスムーズにスタートできるよう、支援方法や環境について、保護者及び園と連携を図り、支援教育の充実につなげる。	公立幼稚園・公立こども園	10 月～２月
巡回相談事業	在園児を対象に、園児の支援のあり方について専門的見地から助言を得るため、臨床心理士等を派遣し、支援の充実を図る。	公私立幼稚園 公私立こども園 私立保育園	通年
就学相談事業	就学前の幼児を対象に、円滑な支援に繋がるよう、観察保育及び保護者面談を通じて、小学校との連携を図る。	市内の小学校に入学予定の公私立園の５歳児	５月～12 月

3　保　健

(1)　定期健康診断

健康の保持・増進と疾患の早期発見のため、児童等や教職員の心臓検診、尿検査、職員健康診断等を実施しています。児童等に対しては、検査に応じて専門医・学校医による判定会を行い、健康指導を行っています。

(2)　学校環境衛生検査

健康的で快適な学校環境の維持・増進のため、校内の飲料水及びプールの水質検査、教室の照度、室内温度の測定などを行い、必要な環境改善に努めています。

(3)　歯科巡回指導

歯磨きの大切さを理解できるよう、歯科衛生士が幼稚園及び小学校を巡回し、園児や児童（１～５年生及び特別支援学級）を対象に口腔衛生指導を行っています。

(4)　学校事故見舞金の支給

学校管理下において災害を受けた児童等の保護者に対し、「秦野市学校災害見舞金要綱」に基づく見舞金を支給しています。

○見舞金の支給状況　（単位：千円）

年　度	R2		R3		R4		R5		R6	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
見　舞　金	4	160	4	50	0	0	2	30	3	40
歯科見舞金	2	60	1	30	1	30	3	120	3	90
死亡見舞金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	6	220	5	80	1	30	5	150	6	130

(5)　災害共済給付金の支給

学校管理下において災害を受けた児童等の保護者に対し、独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害給付制度による給付金を支給しています。

○給付金の支給状況　（単位：円）

年度	R2		R3		R4		R5		R6	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
小学校	84	2,660,964	133	1,587,192	121	999,527	124	1,018,275	91	4,230,053
中学校	101	1,607,084	133	2,796,581	137	1,641,924	151	1,966,609	96	1,916,110
幼稚園	0	0	0	0	1	3,820	0	0	1	2,560
計	185	4,268,048	266	4,383,773	259	2,645,271	275	2,984,884	188	6,148,723

4　給　食

(1)　実施状況

小学校給食は、昭和 24 年に本町小、南小、大根小がミルクとおかずの補食給食を開始し、昭和 36 年には全ての小学校が主食、ミルク、おかずの完全給食を開始しました。また、平成 29 年度には上幼稚園が上小学校と施設を一体化したことに伴い、公立幼稚園では初めてとなる完全給食を開始しました。

中学校給食は、昭和 36 年から全ての中学校が家庭からの持参弁当を基本とする牛乳給食を開始し、平成 16 年度には弁当を持参できない時のために「業者弁当」を導入しました。また、令和３年 12 月からは、全ての中学校での完全給食を開始しました。

〇種別及び提供予定回数等

区　分	種　別	提供予定回数	給　食　費
小学校	完全給食	年間　185 回	年間　47,300 円
中学校	完全給食	1・2 年生　年間　170 回 3 年生　　年間　150 回	年間　56,100 円 年間　49,500 円
幼稚園	牛乳給食	各園で異なる	各園で異なる
上幼稚園	完全給食	年長　年間 160 回 年少　年間 147 回	年長　年間 32,800 円 年少　年間 30,135 円

(2)　小学校給食

ア　提供方式等

栄養士を各校に配置し、自校方式による給食を実施しています。調理業務は３校が直営、10 校が委託により実施しています。

イ　献立の作成

学校給食会が栄養バランスや子どもの嗜好などを考慮した「標準献立」を作成し、各校の栄養士が自校の特色を加えた献立を作成しています。

主食は、自校炊飯方式による米飯を週３回、パンを週２回とし、麺類も月に１回程度提供しています。

ウ　食材の安全確保

「秦野市小学校給食用物資規格書」や「食品添加物等の基準」に基づく食材検査等を行い、調理事業者と連携した食材の安全確保に努めます。

エ　地場産品の使用

ＪＡはだのの協力により、昭和63年度から全ての小学校が地場産品（秦野産品）を取り入れています。

また、東小学校は平成 11 年度から東地区農産物直売研究会、北、西及び堀川小学校は平成 17 年度から丹沢秦野観光農業研究会、渋沢小学校は平成 20 年度から峠営農組合の協力により、地区の身近な地場産品の使用に取り組んでいます。

オ　ふれあい給食の実施

給食を通じて子どもたちが高齢者とふれあい、地域との結びつきを深めています。

※　新型感染症拡大防止のため、令和２年度から休止中。

カ　給食残さの処理

全ての小学校に生ゴミ処理機を設置し、残食や調理くずを校内でたい肥化しています。たい肥は学校農園、花壇などに利用するとともに、保護者等に配布しています。

〇実績

区　分	R2	R3	R4	R5	R6
年間投入量（ｋｇ）	38,544	46,738	45,724	45,316	42,185
年間たい肥量（ｋｇ）	9,039	12,136	12,841	12,617	12,308
年間たい肥量の割合	23.5%	26.0%	28.1%	27.8%	29.2%
年間ごみ減量（ｋｇ）	29,505	34,602	32,883	32,699	29,877
年間ごみ減量の割合	76.5%	74.0%	71.9%	72.2%	70.8%

(3)　中学校給食

ア　提供方式等

令和３年 11 月まで牛乳給食を行い、12 月から完全給食を開始しました。

栄養士を学校給食センターに配置し、センター方式による給食を実施しています。

また、学校給食センターの整備及び運営は、民間企業の技術力と創意工夫を生かした「公民連携方式」により、公募型プロポーザル方式で選定した企業グループに委託しました。

イ　献立の作成及び地場産品の使用等

センター方式のメリットを生かし、新鮮な地場産品を活用した安全・安心でおいしい給食を提供できるよう、献立の作成や食材の発注・調達等に取り組み、地産地消を推進しています。

ウ　食材の安全確保等

「秦野市中学校給食用物資規格書」や「食品添加物等の基準」に基づく食材検査等を行い、センターで調理した給食は、配送中の異物混入等を防止するとともに、適温のまま各校に届けられるよう、給食配送用コンテナを導入しています。

エ　食育活動等

学校、保護者及び学校給食センターが連携し、中学生に合わせた食育活動の推進に努めています。

オ　エレベーターの整備

給食配送用コンテナを運搬するため、令和２年度及び令和３年度の２か年で、本町中学校のエレベーターを改修し、その他８校にエレベーターを設置しました。

5　就学援助・就学奨励

(1)　要保護準要保護児童生徒就学援助費

児童生徒が学校生活を安心して楽しく過ごすことができるように、経済的援助を必要とする保護者に対し、学用品費や給食費などの一部を支給しています。

また、平成 30 年度からは、新入学学用品費の購入時期に合わせて援助できるよう、新小学１年生及び新中学１年生を対象とする入学前支給を開始しました。

○支給実績（在校児童・生徒支給分）

単位：人

区　分	R1	R2	R3	R4	R5	R6
小学校	852	798	880	890	914	875
中学校	491	465	528	524	499	537

○支給実績（新入学学用品費入学前支給分）

単位：人

区　分	R1	R2	R3	R4	R5	R6
小学校	123	119	101	106	75	88
中学校	162	159	155	147	176	159

(2)　特別支援教育就学奨励費

特別支援学級に就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減し、就学を奨励するために支給しています。

○支給実績　　単位：人

区　分	R１	R2	R3	R4	R5	R6
小学校	238	242	244	257	423	353
中学校	97	89	103	118	188	125

第３編　生 涯 学 習

第１章　生涯学習・社会教育

社会構造の急激な変化の中で、一人ひとりが生涯にわたり生きがいを持ち、人と人とのつながりを大切にして豊かな人生を送るためには、生涯学習の果たす役割はますます大きなものになっています。

本市においても、市民の多様な生涯学習活動の推進を図るため、社会教育活動の拠点的施設である公民館、図書館、体育施設等を中心として、「いつでも、どこでも、だれでも、なんでも」の視点から、市民一人ひとりが自らの意思と目的に沿って主体的で充実した学習活動を行い、その成果を地域で発揮することができる幸福感を持って生活するために、豊かな社会の実現を目指します。

１　生涯学習に関連する審議会・協議会等

審議会・協議会	内　　容
社会教育委員会議	社会教育に関する諸計画の立案や教育委員会の諮問に応じ意見を述べるなど、本市の社会教育の振興を図る。 委員数：13人　任期：2年（R7.6.1～R9.5.31）
公民館運営協議会	公民館運営に関し、館長の求めに応じ調査協議を行い、公民館の円滑な運営や事業の効果的な推進を図る。 委員数：各館12人以内　任期：2年（R7.6.1～R9.5.31）
文化財保護委員会	市内の文化財の指定や活用に関し、教育委員会の諮問に応じ意見を述べるなど本市の文化財行政を推進する。 委員数：7人　任期：2年（R7.1.29～R9.1.28）
図書館協議会	図書館の運営に関して図書館長の諮問に応じるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき館長に対して意見を述べるなど、地域の実情を踏まえた図書館の振興を図る。 委員数：8人　任期：2年（R5.8.24～R7.8.23）

2　生涯学習事業

<table>
<tr><th>事　業　名　等</th><th>内　　容</th></tr>
<tr><td>市民教養講座</td><td>

［はだの生涯学習講座］

現代的・社会的・公共的課題など、社会を取り巻く環境の大きな変化に関連した、様々な分野における多様な学習機会を提供する。

年 10 回開催予定 聴講者は毎回募集

<table>
<tr><td>月日</td><td>5/25</td><td>6/29</td><td>7/19</td><td>8/23</td><td>9/20</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>缶詰ひとつで養生ごはん</td><td>経年美化×漢方アロマ</td><td>家族と話が通じない日に備える</td><td>そこにあるものでなんとかする！サバイバルの心構え</td><td>【地元を新発見】秦野×ジビエ</td></tr>
<tr><td>月日</td><td>10/11</td><td>11/1</td><td>12 月</td><td>1/17</td><td>2/28</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>安居院庄七と草山貞胤</td><td>調整中</td><td>調整中</td><td>家庭教育支援をテーマとする予定</td><td>正しく怖がるインターネット</td></tr>
</table>

※名称及び日程は変更の可能性あり

</td></tr>
<tr><td>障害者の生涯学習支援事業</td><td>

［たけのこ学級］

義務教育修了後の知的障害者の社会参加と生きがいづくりの場として、8 月を除く毎月 1 回スポーツ・音楽・手工芸などの集団活動を実施する。　学級生：36 人　※令和 7 年 3 月末現在

</td></tr>
<tr><td>家庭教育推進事業</td><td>

家族のふれあいを通じ、子どもが心豊かに学び「生きる力」を育む環境をつくるため、親を対象とした講演会を開催するほか、公民館において家庭教育に関する各種支援事業を開催する。
家庭教育の支援ツールとして、家庭教育手帳を作成する。

［第 16 回秦野市親子川柳大会］

家庭での日常的な出来事を川柳で表現することにより、家族同士の心のつながりについて、見つめ直す機会をもってもらうため、親子川柳大会を開催する。

募集期間：令和 7 年 5 月 1 日～9 月 2 日

対象：小・中学生とその保護者

表彰式：令和 8 年 1 月 17 日(土)予定

※市 PTA 連絡協議会大会及び家庭教育支援講演会と同日開催

入選作品はイオン秦野ショッピングセンターや西庁舎前プロモーションボード、各公民館にてパネル展示

［家庭教育支援講演会］

子どもたちの健やかな成長について、親と地域の人々が一緒に考える必要性等、家庭教育支援についての考えを啓発するために開催する。

開催日：令和 8 年 1 月 17 日(土)予定

</td></tr>
</table>

事　業　名　等	内　　容
広畑ふれあい塾	高齢者などが、今まで蓄えた知識や、特技を生かして講師となり、その学習活動を通じて生きがいづくり、健康・体力づくり、そして仲間づくりを目的として、学びあう公設民営型の学習活動。小学校の一部を利用し設置した高齢者福祉施設「広畑ふれあいプラザ」を主会場に実施し、一部の公民館を会場にサテライト教室も開設している。 58講座（講師36人・受講生873人[延べ]） ※令和7年3月末現在
報徳仕法啓発事業	二宮尊徳にゆかりのある全国報徳研究市町村協議会に加盟している17市町村が一堂に会し、報徳の教え「報徳仕法」の検証を通して、これからのまちづくりやひとづくりに必要な取組を学ぶ「全国報徳サミット秦野市大会」を、市制施行70周年記念の主要事業として開催する。 令和7年度は普及啓発事業として市民向けツアーや講座を開催予定。 開催日：令和7年11月1日（土） 場　所：メタックス体育館はだの（秦野市総合体育館）メインアリーナ 開催内容：オープニングイベント、基調講演、報徳学習発表、参加首長のまちづくりパネルディスカッション、大会宣言等
広域連携中学生交流洋上体験研修事業	東海大学海洋調査研修船「望星丸」を利用して、中学生が船上の集団生活を通じ、交流と連携を深めることにより、自主性、協調性及び他人を思いやる心を養う。 開催日：8月6日（水）～8月8日（金） 行　程：静岡県(清水港)⇔東京都新島（2泊3日） 研修生：秦野市(50人)・大井町・松田町・中井町・二宮町・清川村(各町村計50人)の中学生100人

広域連携中学生洋上体験研修

たけのこ学級

3　公民館

市民の価値観の多様化、余暇時間の増大及び超高齢社会の突入等により生涯学習の重要性が高まるなか、生涯にわたる学習活動を支援するため、学習機会の提供、学習の場の確保に努めます。

内　　容
11館の公民館を設置し、地域に根づいた公民館活動等を展開している。 (1)　機能の強化について ア　地域の学習拠点としての機能 イ　地域の家庭教育支援拠点としての機能 ウ　奉仕活動・体験活動の推進 エ　学校、家庭及び地域社会との連携 オ　地域の実情を踏まえた運営 (2)　施設の利用について ア　開館時間は、午前8時30分から午後10時まで イ　休館日は、月1回の保守点検日、年末年始 ウ　使用料(30分間当たり)は、多目的ホール400円又は600円、集会室・和室・音楽室・創作活動室など50～250円（平成29年10月、使用料見直し） エ　市民のグループや個人が、様々な催し物や会合に、また、読書、勉強、体力づくり、レクリエーション等に使用できる。ただし、営利を目的とした事業、特定の政党の利害に関する事業、特定の宗教、教派、教団を支援する事業（社会教育法第23条）には使用できない。 (3)　事業について ア　高齢者向けスマートフォン講習会 スマートフォンやタブレット端末の普及により、インターネットを利用する機会が増えてきているが、操作等不慣れな高齢者を対象とした講習会を開催することで、デジタルデバイド（情報格差）の解消を図る。 イ　病気予防・介護に関する講座 健康づくり体操、高齢者くらしのミニ講座、介護予防教室、シニア健康カレッジなど担当課や地域高齢者支援センターと共催して実施する。 ウ　運動に関する講座 卓球教室、フリーテニス教室、体操講座など、子どもから高齢者を対象に実施する。 エ　料理に関する講座 そば打ち教室、ふるさと料理教室、ひな祭りの花巻寿司づくりなど、四季折々の季節料理、伝統行事に合わせた料理教室や、男性を対象にした料理教室を実施する。

オ　パソコン・ＩＴに関する講座

パソコン講座、障害者・高齢者パソコン講座、パソコン相談、デジカメ教室など高齢者を中心に連続で実施する。

カ　趣味・娯楽に関しての講座

油絵・絵画教室、絵手紙教室、陶芸教室、着物着付け教室、ミニ門松づくり教室など市民ニーズの高い多種多様な教室や伝承行事を実施する。

キ　自然・歴史に関する講座

自然観察会、ゲンジ・ヘイケホタルの観察会、大山道を歩く、里山ハイキング、街並みに残る商家巡りなど市の財産である自然等の見て歩きを実施する。

ク　子ども・親子に関する講座

キッズガーデン、家庭教育学級、絵本とお友達、人形劇場、夏休み子ども映画など、子ども、子どもと親、子どもを通した親同士のコミュニケーションづくりを実施する。

ケ　その他

ほっとサロン、うたごえサロン、心のふるさと童謡講座、クリスマスコンサートなどオープンスペース等を利用した講座を実施する。

(4)　施設の整備について

昭和45年に建設した南公民館をはじめ、平成17年開館の堀川公民館まで施設建設年度に差異がある中、良好な学習環境の長寿命化を図るため、耐用年数に応じた重要設備更新計画に基づき、順次、改修工事を進める。

第２章　文化財

本市に遺された文化財の保存管理、普及啓発、調査研究活動を行い、各種の事業を通じて文化財保護の大切さについて理解を求める。

１　文化財保護

(1)　文化財普及啓発

内　　容

ア　指定文化財特別公開

市内に所在する指定文化財を文化財保護強調週間に合わせて公開する。

月　日	10/30～11/3
会　場	宝蓮寺、はだの歴史博物館ほか

イ　ミュージアムさくら塾

秦野の歴史・民俗に係る講演会。幅広いテーマを設定し、年５回開催する。

月　日	6月	9月	10月	1月	2月
内　容	直良信夫の人と学問	目賀田種太郎と専売所(仮)	安居院庄七と農村復興(仮)	根丸島遺跡の実像①(仮)	根丸島遺跡の実像②(仮)

ウ　ミュージアムさくら工房・親子まが玉作り教室

夏休み期間中に小学３～６年生の親子を対象とした、勾玉作り教室を実施する。

月　日	7/23～7/26

エ　はだの歴史博物館企画展

第１企画展示室

名　称	市制施行70周年記念企画展「大津雲山展－秦野に生まれた南画家－」	企画展「昭和の子どもたち～くらしとあそび～」	全国報徳サミット関連展示(仮)	企画展「根丸島遺跡展(仮)」
月　日	3/29～5/25	6/10～8/17	9/6～11/16	調整中
内　容	旧東田原村出身の南画家である大津雲山の作品を用いて、その画業を振り返る。	昭和100年・戦後80年を迎えるにあたり、昭和を生きた秦野の子どもたちの姿を紹介。	全国報徳サミット開催にあたり、安居院庄七と草山貞胤を中心に紹介。	発掘調査から50年にあたり、出土遺物を展示。

第２企画展示室

名　称	市制施行70周年記念企画展「カメラレンズがとらえた70年」	企画展「直良信夫－秦野に眠るナチュラリスト」	企画展「秦野煙草試験場と専売所(仮)」	企画展「秦野の水に関する展示（仮)」
月　日	3/8～5/6	5/24～7/27	8/16～10/26	調整中
内　容	市制施行70周年を記念し、市が様々な機会に撮影した写真を活用し、市内の風景の変遷をたどる。	直良信夫没後40年にあたり、秦野との関わりやその生涯を紹介。	たばこ専売制の成立を取扱い、秦野の専売所や試験場の歩みをたどる。	名水百選選出から40年にあたり、市内の河川や水にちなんだ展示を実施。

オ　ミュージアム青空レクチャー
　市内に所在する文化財や歴史的景観を巡る街歩きを年２回実施する。
　全国報徳サミット秦野市大会の開催に当たり、安居院庄七と草山貞胤ゆかりの地を巡る見学会を予定。

カ　はだの歴史博物館・桜土手古墳公園活性化事業

種　別	体験講習・解説イベント	飲食店出店イベント
時期等	10 月～12 月頃	3 月下旬
内　容	桜土手古墳公園で、古墳や博物館の解説とともにヨガ等の体験講習ができるイベントを開催する。	桜の開花時期に合わせて公園内でキッチンカー等による飲食の販売を実施する。

※名称及び期間変更の可能性あり

(2)　文化財保存管理

内　　容
ア　指定文化財保存管理奨励金 　指定文化財の適切な保存を目的として、日常的に管理している所有者に対し、管理経費の一部に充てるため奨励金を交付する。 イ　無形民俗文化財など保存活動事業補助金 　本市に伝承されている無形文化財の伝承を支援するため、保存団体に対し、活動事業の経費の一部を補助する。 ウ　指定文化財保存事業費補助金 　指定文化財の保存事業に要する経費の一部について、管理者・所有者に対し、補助金を交付する。

(3)　文化財調査研究

内　　容
ア　埋蔵文化財発掘調査整理 　発掘調査が完了した市内遺跡について報告書を順次刊行する。

(4)　指定文化財等一覧

ア　国指定の文化財

無形文化財		
名称	保持者	指定日
芸能　義太夫節浄瑠璃	竹本駒之助	平成 11 年 6 月 21 日

イ　国登録の文化財

名称	所有者	登録日
戸川堰堤	神奈川県	平成 15 年　3 月 18 日
山ノ神堰堤	神奈川県	平成 15 年　3 月 18 日
猿渡堰堤	神奈川県	平成 15 年　3 月 18 日

名称	所有者	登録日
宇山商事店舗兼主屋	個人	平成 29 年 6 月 28 日
曽屋水道	秦野市・曽屋神社	平成 29 年 10 月 13 日
五十嵐商店店舗兼主屋・倉庫４棟	個人	平成 29 年 10 月 27 日
蓑毛大日堂・蓑毛地蔵堂・蓑毛不動堂・蓑毛大日堂仁王門	宝蓮寺	平成 29 年 10 月 27 日
旧芦川家住宅主屋（緑水庵）	秦野市	令和 2 年 4 月 3 日
震生湖	秦野市ほか	令和 3 年 3 月 26 日
旧澤良商店店舗兼主屋及び土蔵	個人	令和 6 年 3 月 6 日
立花屋茶舗店舗兼主屋及び蔵	個人	令和 6 年 3 月 6 日
保全堂薬局店舗兼主屋	個人	令和 6 年 3 月 6 日

ウ　県指定の文化財

重要文化財			
名称	数量	所有者	指定日
木造大日如来坐像	1 体	宝蓮寺	昭和 49 年 4 月 19 日
平沢同明遺跡出土の弥生前期壺形土器	1 点	はだの歴史博物館（寄託）	平成 15 年 2 月 10 日
木造薬師如来立像	1 体	東光寺	令和 2 年 3 月 17 日

無形民俗文化財		
名称	保存団体	指定日
相模のささら踊り	秦野ささら踊り保存会	平成 20 年 2 月 5 日

史跡・天然記念物			
名称	数量	所有者	指定日
鶴巻の大ケヤキ	1 本	鶴巻大ケヤキ保存会	昭和 28 年 12 月 22 日
二子塚古墳	1 基	都市再生機構	昭和 58 年 08 月 30 日

エ　市指定の文化財

重要文化財			
名称	数量	所有者	指定日
木造聖観音菩薩立像	1 体	東光寺	昭和 40 年 12 月 8 日
石造六地蔵尊像	6 体	真静院	昭和 40 年 12 月 8 日
弥生式土器	1 個	はだの歴史博物館（寄託）	昭和 40 年 12 月 8 日
弥生式土器	1 個	南小学校	昭和 40 年 12 月 8 日
木造聖観音菩薩立像	1 体	宝蓮寺	昭和 46 年 7 月 26 日
木造十一面観音菩薩立像	1 体	太岳院	昭和 46 年 7 月 26 日

名称	数量	所有者	指定日
木造十一面観音菩薩立像	1体	極楽寺	昭和54年3月23日
木造十一面観音菩薩立像	1体	円通寺	昭和60年12月20日
木造阿弥陀如来坐像	1体	金蔵院	昭和60年12月20日
木造毘沙門天立像	1体	龍法寺	平成2年4月23日
木造不動明王立像	1体	龍法寺	平成2年4月23日
木造大日如来坐像	1体	宝泉院	平成2年4月23日
木造五智如来坐像	4体	宝蓮寺	平成2年4月23日
木造十王像他	18体	宝蓮寺	平成15年2月12日
石造十王像	1群	泉蔵寺	平成15年2月12日
健速神社本殿	1件	健速神社	平成15年2月12日
命徳寺山門	1件	命徳寺	平成15年2月12日
八幡神社本殿	1件	八幡神社	平成15年2月12日
木造二王立像	2体	宝蓮寺	平成20年4月18日
絵画束帯天神像掛幅	1幅	菅原神社	平成22年1月15日
二子塚古墳出土の銀装圭頭大刀附二子塚古墳横穴式石室内出土遺物	1口及び36点	はだの歴史博物館	平成25年9月27日
東光寺薬師堂山門	1棟	東光寺	平成30年8月24日
東開戸遺跡出土琥珀大珠・翡翠大珠	琥珀大珠2点翡翠大珠1点	はだの歴史博物館	令和2年12月18日
木造阿弥陀三尊立像	3体	金剛寺	令和4年8月19日

有形民俗文化財			
名称	数量	所有者	指定日
ニホンオオカミの頭骨	1個	個人蔵	昭和40年12月8日
ニホンオオカミの頭骨	1個	個人蔵	昭和40年12月8日
戸川原の双体道祖神	1基	戸川原自治会	平成24年1月20 日

無形民俗文化財		
名称	保護団体	指定日
瓜生野百八松明	瓜生野百八松明保存会	昭和50年8月22日
瓜生野盆踊り	瓜生野盆踊り保存会	昭和52年7月16日
鶴巻下部大山灯籠行事	鶴巻下部大山灯籠保存会	平成27年6月23日

史跡・天然記念物			
名称	数量	所有者	指定日
米倉丹後守一族の墓地	1所	蔵林寺	昭和43年3月28日
源実朝公御首塚	1基	秦野市	昭和46年7月26日
杉	2本	白山神社	昭和46年7月26日
大ムク	1本	八坂神社	昭和46年7月26日
公孫樹	1本	稲荷神社	昭和46年7月26日

名称	数量	所有者	指定日
桜	1本	南小学校	昭和46年7月26日
桜土手古墳群	1群	秦野市ほか	昭和47年7月27日

(5) はだの歴史博物館の管理

内　　容
ア　維持管理 　来園者・来館者に快適な環境が提供できるよう、桜土手古墳公園及びはだの歴史博物館の適切な維持管理に努める。

(6)　市史資料整理・保存

内　　容
ア　秦野たばこ資料展 　「秦野たばこ祭」にあわせて本町公民館において「たばこ資料展」を開催する。

会場	本町公民館（9/27～28）
内容	秦野の近代化に大きく貢献した、葉タバコ耕作を広く知ってもらうため、寄贈された民具や写真等を中心とした展示を行う。

飲食店出店イベント

ミュージアム青空レクチャー

親子まが玉作り教室

体験講習・解説イベント

第３章　図書館

テーマ「市民に愛され、利用される図書館づくりを目指します」

図書館は、市民の生涯学習を支える地域の情報拠点として、良質な図書館サービスの提供に努め、読書を通して人生を豊かにする読書文化の醸成と子ども読書活動の推進に取り組んでいます。

しかし、利用者の多様化するニーズや少子・超高齢化の更なる進展、また、情報化の進展や大規模災害、新型感染症など、社会情勢の変化などに伴う新たな取組も求められてきます。

そのため、「だれでも・いつでも・どこでも・どんな資料でも」を念頭に、次の項目を基本的な指針に位置づけ、図書館づくりに努めます。

・市民の生涯学習への支援
・子ども読書活動の推進
・郷土文化の普及・継承
・効率的で質の高いサービス提供体制の確立
・図書館施設の長寿命化と滞在空間の整備

Ⅰ　図書館事業の概要

内　　容
(1)　市民の生涯学習への支援 資料の充実に加え、それらを活用するためのレファレンスサービスの充実、さらには公民館図書室等を含めたネットワークの充実により、少子化や超高齢化の進展、グローバル化等による、新たな利用者層に対応した支援を検討します。コロナ禍における「新しい生活様式」を考慮して令和４年度に提供を開始した電子図書館サービスのさらなる拡充を図るとともに、ＩＣＴの有効活用を含めたサービスについても引き続き研究・検討していきます。 ア　資料の充実（新刊、話題、利用者ニーズに基づく選書など） イ　レファレンスサービスの充実 ウ　公民館図書室等を含めた図書館サービスの充実 エ　他図書館、類縁機関等との連携 オ　障害者、高齢者等へのサービスの充実 カ　地域の読書・学習活動への支援 キ　情報発信の強化 ク　電子図書館サービスの提供・拡充 (2)　子ども読書活動の推進 少子化が進む中で、次世代を担う子どもたちが健全かつ逞しく成長するために、読書は欠かすことのできないものであることから、成長段階に応じた「すぐれた本との出会い」の機会を準備することや読書に親しむことができる環境づくりに努めるなど、これまでの取組みに加え、日々、子どもたちが生活する教育現場等（小中学校・幼稚園・認定こども園・保育園等）との協働のあり方を検討します。 ア　読書推進・学習活動への支援 イ　教育機関等との連携

(3)　郷土文化の普及・継承

地域に根差した図書館として、郷土資料を次世代へ引き継ぐ役割を念頭に、文化教育の一環となっている既存の事業を継続しながら、本市の歴史に関わる貴重な資料の活用策を検討します。

また、令和５年度に前田夕暮生誕１４０年記念事業の一環として実施した、中学校短歌出前授業について、郷土の歴史文化を次世代に継承するとともに、学校との協働や秦野ふるさと科の取り組みに結び付くよう継続して実施します。

ア　資料の充実（展示方法やスペースの工夫など）

イ　レファレンスサービスの充実

ウ　情報発信の強化

(4)　効率的で質の高いサービス提供体制の確立

利用者へのサービスの維持・向上に対する取組強化のために、職員配置などの諸課題も踏まえて検討し、効率的かつ適切な運営体制の確立を図ります。

ア　実施事業の検証・検討

イ　人材の育成・確保

(5)　図書館施設の長寿命化と滞在空間の整備

令和６年 11 月で建築後 39 年を迎えた図書館では、建物と同様に建物内の設備等も経年による劣化が進んでいます。このことから、計画的に改修等を実施していく必要がある一方で、時代の変化に対応した施設・設備への更新と要対処箇所を早急に把握するための日常点検も重要になります。

令和７年度は、館内照明機器のＬＥＤ化の工事と空調機器の耐用年数経過に伴う設備更新を施工します。

ア　計画的な改修工事等の実施

イ　施設・設備等の適正管理

ウ　読書環境の整備充実

夕暮記念こども短歌大会表彰式
（小学生）

夕暮記念こども短歌大会表彰式
（中学生）

子ども読書活動推進事業講演会

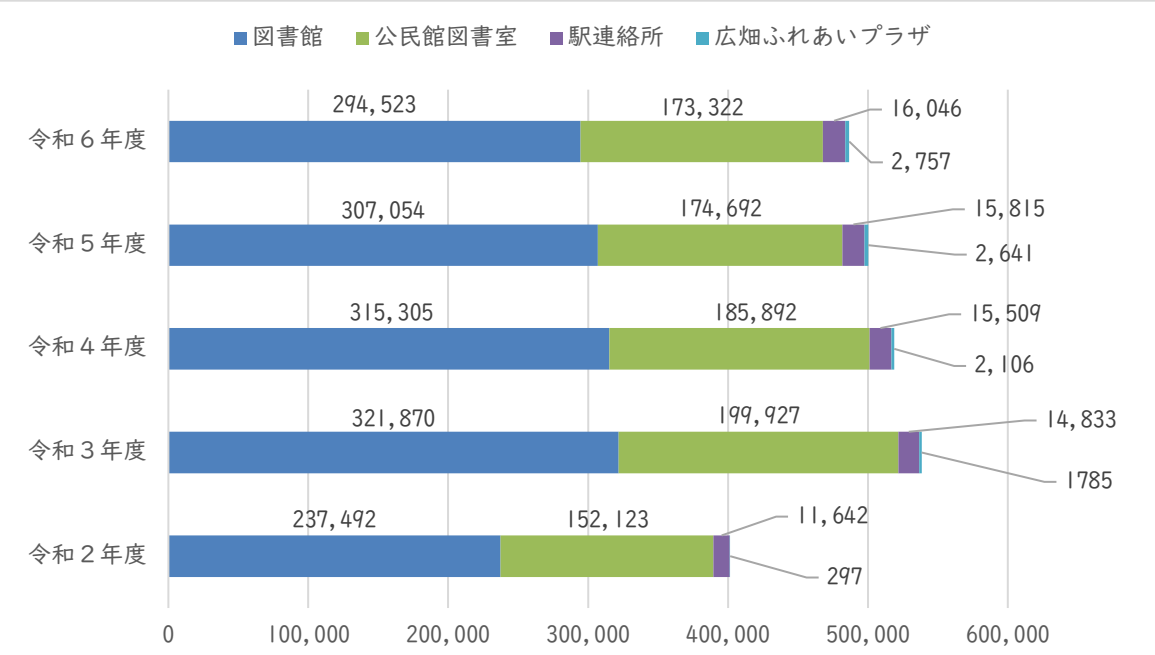
図書館見学（堀川小）

展示（秦野×ジビエ）

展示（猫の日）

2　貸出点数の推移

（単位：点）



※休館

令和２年度　4/ 1～ 6/ 1　新型コロナウイルス感染症防止対策、11/16～12/ 7　照明設備等更新工事

令和６年度　11/18～12/3　エレベーター更新工事、図書館システム機器等更新